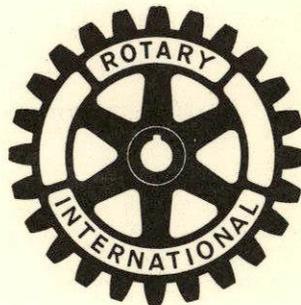


1978~79 RI 270地区 第9.10.11分区  
インターシティー・ゼネラル・フォーラム

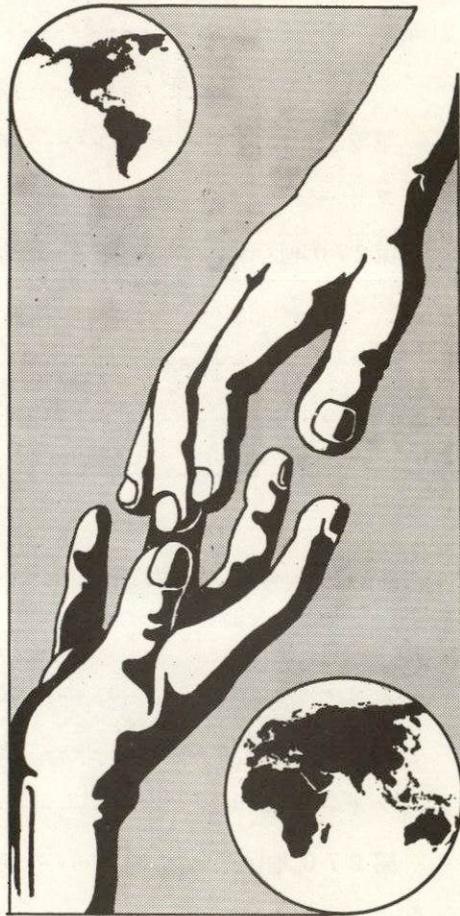
記 録



日 時 昭和54年3月25日(日) 12:30~点鐘  
会 場 長崎グランドホテル

ホストクラブ 長崎ロータリークラブ  
コホストクラブ 長崎北・長崎南  
長崎東・長崎北東 ロータリークラブ

手をさし伸べよう...



REACH OUT...

## 目 次

1.	ターゲット -----	1
2.	目 次 -----	2
3.	写 真 -----	3
4.	プログラム -----	9
5.	I G F 実行委員会組織 -----	10
6.	歓迎のことば ----- ホストクラブ会長 ----- 藤 樹 憲 二 --	11
7.	挨 拶 ----- 第270地区ガバナー ----- 新 家 忠 男 --	12
8.	挨 拶 ----- フォーラムリーダー ----- 中 沢 忠 雄 --	13
9.	基 調 講 演 ----- 第270地区バスターガバナー ----- 清 島 省 三 --	14
10.	部門別協議会	
	(1) クラブ奉仕部会 -----	28
	(2) 職業奉仕部会 -----	39
	(3) 青少年奉仕部会 -----	51
	(4) 新会員部会 -----	59
11.	部門別協議会所感 -- カウンセラー ----- 七 條 達 夫 --	69
	" ----- 田中丸 善三郎	
	" ----- 本 郷 芳 郎	
	" ----- 渡 辺 喜 海	
12.	感 想 ----- フォーラムリーダー ----- 中 沢 忠 雄	73
13.	講 評 ----- 第270地区ガバナー ----- 新 家 忠 男	74
14.	付 録	

クラブならびに部門別参加者数集計表



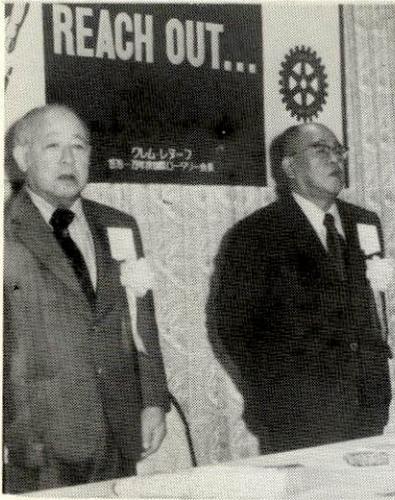
登 録

ようこそ  
いらつしやい  
ました



新家  
ガバナー  
ご入場





写真左

田中丸カウンセラー

七條 カウンセラー

写真右

清島 パストガバナー

新家 ガバナー



開会の挨拶

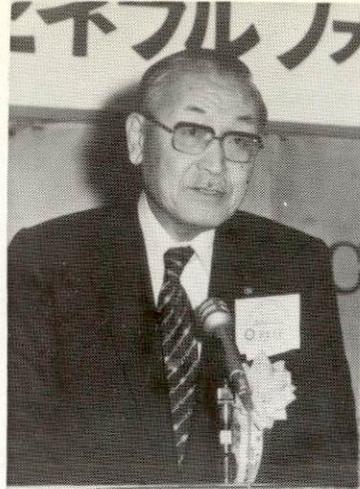
大盛会の

↓ 会場風景





藤樹ホストクラブ会長



新家ガバナー

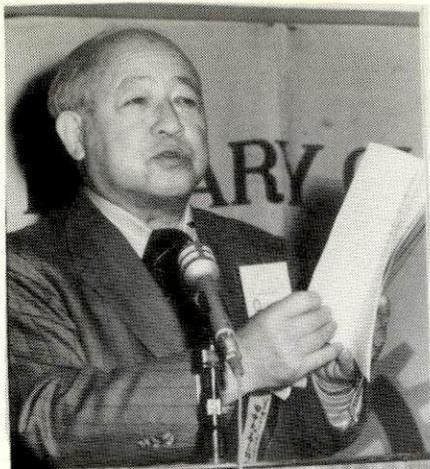


中沢フォーラムリーダー



清島バスターガサナーの基調講演

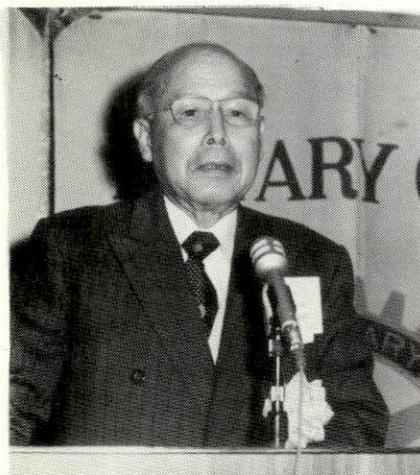




田中丸カウンセラー



七條カウンセラー



本郷カウンセラー



渡辺カウンセラー





↑ 部門別協議会

副リーダー

↓ 部門別協議会

リーダー

↓ コホストクラブ会長





懇談会

なごやかな

歓談風景

万才三唱



大懇親会



# プ ロ グ ラ ム

11:30 ~ 12:30	登 録	(同会・フォーラム幹事)	田 川 博 康
12:30 ~ 13:00	1. 点 鐘	フォーラムリーダー	中 沢 忠 雄
	2. 開会宣言	S.A.A 委員長	西 村 金 造
	3. 国家斉唱		
	ロータリーソング「奉仕の理想」	ソングリーダー	鈴 木 正 和
	4. 歓迎のことば	ホストクラブ会長	藤 樹 憲 二
	5. ガバナー紹介		
	6. ガバナー・ノミニ紹介		
	7. フォーラムリーダー		
	副リーダー紹介		
	8. 部 門 別		
	カウンセラー紹介		
	9. 部門別リーダー		
	副リーダー紹介		
	10. 出席クラブ紹介		
	11. ガバナー挨拶	ガバナー	新 家 忠 男
	12. フォーラムリーダー挨拶	フォーラムリーダー	中 沢 忠 雄
13:00 ~ 13:40	基 調 講 演	バスト・ガバナー	清 島 省 三
13:40 ~ 13:50	(会場移動)		
13:50 ~ 15:30	部門別協議会 (休憩10分)		
15:30 ~ 15:40	(会場移動)		
15:40 ~ 16:20	部門別協議会所感	各部門別 カウンセラー	
	感 想	フォーラムリーダー	中 沢 忠 雄
	講 評	ガバナー	新 家 忠 男
	閉会宣言	S.A.A 委員長	
	点 鐘	フォーラムリーダー	中 沢 忠 雄
16:20 ~ 16:30	(懇親会場へ移動)		
16:30 ~ 17:30	懇 親 会		

I G F 実 行 委 員 会 組 織 表

地区ガバナー	第270地区ガバナー	新家忠男(福岡城西)	実行委員長	ホストクラブ会長	藤樹憲二(長崎)
ガバナーノミニー		喜多村禎勇(久留米)	副委員長	コホストクラブ会長	内田恭助(長北)
フォーラムリーダー	第11分区代理	中沢忠雄(長東)		"	島田明吉(長南)
副リーダー	第10分区代理	本郷芳郎(大村北)		"	沖 良人(長東)
副リーダー	第9分区代理	渡辺喜海(佐世保南)		"	黒崎 勇(長北東)
基調講演	バストガバナー	清島省三(長崎)	幹 事	ホストクラブ幹事	田川博康(長崎)
部門別カウンセラー	直前ガバナー	七條達夫(雲仙)	副 幹 事	コホストクラブ幹事	山本隆光(長北)
	バストガバナー	田中丸善三郎(佐世保)		"	小浜正美(長南)
	分区代理	本郷芳郎		"	中村哲哉(長東)
	"	渡辺喜海	会 計	ホストクラブ会計	横山道孝(長北東)
					速見雄吉(長崎)

部門別協議会	リーダー	副リーダー	記 録	S A A	総 務
クラブ奉仕(佐世保南)	浜 田 進	江 崎 梅太郎	高 橋 利 一 喜 多 徹 敏 富 高 道 敏	中 尾 泰 郎(東) 松 尾 藤 太 郎(東)	山 近 寛(東) 島 田 明 士(東)
職業奉仕(島原)	檜 崎 次 男	西 田 正 剛	大久保 昇 大 塩 恵 宏	山 崎 喜代晴(北東) 道 向 豊(北東)	堺 由 之(北東) 吉 川 万 一 郎(北東)
青少年奉仕(長崎北)	脇 山 慶 一	内 山 秀 明	森 内 三 次 宮 村 通 敏	三田村 誠 一 渡 辺 清 孝	西 源 一 郎 大 場 初
新 会 員(長崎南)	山 田 遼	松 藤 悟 司	江 口 辰 夫 高 稲 達 雄	内 田 隆 江 崎 滋 昭	佐 伯 壮 六 伊 東 利 勝

部 会	委 員	◎ 部会長 ○ 副部会長
総 務	◎益田耕作 ○塩田元久 広瀬範造 原田延介 佐々木光一 上原昭太 本田千代松 藤田智久 (長崎) ○西源一郎 大場初(長崎北) ○佐伯壮六 伊東利勝(長崎南) ○山近寛 島田明 士(長崎東) ○堺由之 吉川万一郎(長崎北東)	
S A A	◎西村金造 ○井之上三郎 江頭誠 雑賀昇 川添弘之 陳名治 川村高治(長崎) ○三田村誠 一 渡辺清孝(長崎北) ○内田隆 江崎滋昭(長崎南) ○中尾泰郎 松尾藤太郎(長崎東) ○山崎喜代晴 道向豊(長崎北東)	
登 録	◎芦澤庫介 ○平田正穂 藤岡邦雄 波多野顕 吉田秋義 勝股康行 黒木利一郎(長崎) ○杉原 吉昭 前田圭一郎(長崎北) ○岡部寿男 村木文郎(長崎南) ○諸岡敏昭 田中明(長崎東) ○原口博司 平石博(長崎北東)	
親 睦	◎岩永光治 ○福田実 吉田順彦 鈴木正和 赤司喜代一 城井文哉 永野泰昭 古賀茂(長崎) ○宮崎忠義 金子敬幸(長崎北) ○松島福男 安倍博一(長崎南) ○杉岡義博 本明博文(長 崎東) ○中村甚一 辻原慶吾(長崎北東)	
記 録	◎森正夫 ○有川正之 大町正三 松井護 高木忠一郎 三山亨 中島章一郎(長崎) ○森内三 次 宮村通敏(長崎北) ○江口辰夫 高稲達雄(長崎南) ○松山勉 山本宏一(長崎東) ○田嶋英夫 麻生弘之(長崎北東)	

## 歓迎のことば

昭和二十八年

ホストクラブ会長 藤 樹 憲 二

本日ここに国際ロータリー第270地区第9, 10, 11分区の21クラブの会員各位が一堂に集いまして本年度のIGFを開催することになりましたこと、まことにご同慶にたえないところであります。今日は天候もよく日曜日でもあり、皆さまにはそれぞれ予定もおありだつたことと存じますが、全会員の約三分の一の362名の方々のご参加をえてホストクラブといたしまして感謝にたえないところであります。

このように集つていただくだけですでに目的の半ばは達せられたと思うのでありますが、特に新家ガバナーは福岡からはるばるご指導にお出でいただきありがとうございます。又、清島パストガバナーには基調講演をお願い申しあげましたところ、快くお引きうけ下さいまして感謝申し上げます。更に田中丸パストガバナー、七條直前ガバナーには部門別カウンセラーをお引きうけいただきありがとうございます。中沢第11分区代理には格別にフォーラムリーダーをお願いいたしましてご承諾いただきありがとうございます。

喜多村ガバナーノミニーはご欠席で残念でしたが、本郷第10分区代理、渡辺第9分区代理には面倒な部門別カウンセラーを担当いただきありがとうございます。

本日のフォーラムのため長期に亘りご準備していただいた長崎北、同南、同東、同北東クラブの会員各位にお礼申し上げます。

IGFは自由に討議する会でありその中でお互いに勉強しあう会であります。このIGFの効果をあげるために当グランドホテルを会場として選定しましたがホストクラブとして不行届の点多かろうと思います。そのところはロータリークラブの精神である友情と好意により何卒ご寛容をたまわりたいと存じます。

本日のIGFがみのり多い会になりますよう心から願ひまして歓迎のことばといたします。

### 第270地区ガバナー 新家忠男

新家でございます。

公式訪問の時は各クラブに大変お世話になり有難うございました。今年は行事が多く1月末にはガバナー研修会があり又去る3月7日にはR I 会長レヌーフ氏の来日があり福岡で歓迎会を開催いたしました。レヌーフ氏は三日間日本に滞在されました。その他G.S E等例年にない問題をかゝえ皆さんにご迷惑をかけました。

さて本日は会員の三分の一という多勢の方がお集り頂いてまことに有意義なフォーラムを開くことが出来てホストクラブの皆さんに厚くお礼を申し上げます。次にIGFかICGFかという呼称の件ですが九州では昔からICGFと呼んでおりましたICGFの方がむしろ使い易いのではないかと思います。ロータリーの友にまことしやかな記事が出ていましたが私はどちらでもよいと思います。インターンテイゼネラルフォーラムを日本流に訳しますと都市連合一般討論会ということになりますがいかに長たらしい名称となりますので現在使っておりません。

このインターンテイゼネラルフォーラムは出来るだけ多くの会員に集つて頂きロータリーに関係のある諸問題や計画等についてR Iの役員や元役員の方々から指導をお願いして研究討議する機会をもつのがこの会の目的であります。従つてアッセンブリーと違つてフォーラムなので日頃疑問に思つていることを持ち出して遠慮なく討議して頂きたいと思ひます。

最後に来年度はR I 創立75周年で今迄にない行事が控えていると思ひます。

この問題についてはあとで時間があれば若干ふれてみたいと思ひます。六月末開かれる地区協議会で充分ご協議をお願いすると共に75周年委員長会で準備のために部門をつくる予定でありそれらの機会に具体的なお話出来るかと思ひます。

今日一日熱心に研修されてこのフォーラムを有意義に生かして欲しいと思ひます。

## フォーラムリーダー挨拶

### 第11分区代理 中 沢 忠 雄

恒例によりまして第9, 第10, 第11分区が連合して今年のI.G.Fを開催出来ますことをご同慶に存ずる次第であります。加盟の21クラブからこのように多数ご参加頂き誠に有難くお礼申し上げます。

ホストクラブである長崎RC, コホストクラブである長崎北, 南, 東, 北東RCの皆さんには, 昨年の11月から準備を進められ長時間に亘ってお骨折りをお願いしました事に対し感謝いたします。特に長崎RCは大先輩クラブとして粒よりの方々ばかりですが, ホストに当つては会長幹事をはじめ会員皆様が一致協力して万全を期せられましたことに深甚の敬意を払うものであります。I.G.Fは毎年の行事でありますのでマンネリに陥り易いと思います。ホストクラブとしては特にこの点に留意頂いて新しい味合いを出すことに非常なご苦心を払われましたが, 那ご労苦に対し心から感謝の意を表する次第であります。今回は基調講演を清島バスターガバナーにお願いし, 部門別カウンセラーに七條直前ガバナー, 田中丸バスターガバナー, 本郷分区代理, 渡辺分区代理の4名の方々をお願い申し上げ, 快くお引き受け下さつて心からお礼申し上げます。新家ガバナーには, 公式訪問を終られて引続く行事の中にご多忙の中をご出席頂きご指導を賜りますことに対し厚くお礼申し上げます。又各部門別には, ベテランのリーダー並に副リーダーが当たられ本日のフォーラムが益々実りあるものになりますことに感謝いたします。折角お集り頂いて年に一回の勉強会でございますし, 又良き指導者に恵まれていますので, どうか充分勉強の実をあげて欲しいと存じます。それが明日のロータリークラブの発展につながりますよう心からお祈り申し上げます。

## ロータリー発展の節

パストガバナー 清島省三

只今ご紹介に預りました清島であります。大勢お顔見知りの方もおられます。私は73・74年にこの地区のガバナーを務めさせてもらいました。大変皆様にお世話になりました。

今日は基調講演をせよということですが、ロータリーは勧められたことを断つてはいけないという大きな慣習のようなものがありますので、私もお引き受けしたわけであります。

リーチアウトという今年のターゲットについては新家ガバナーからいろいろと皆さんも指導をうけられて、年度の期間も半分すぎたわけですから充分ご理解になつていると思います。ゼネラルフォーラムはロータリーの一般性格や計画等について研究討議をする場であることが手続要覧に規定されておりますが、これはロータリアンがいつも考えねばならぬことであります。今日のロータリーがここまで発展したことについて、ロータリーはつねに革新をされて今日の発展をしてきたのであり、ロータリーは固定したものではなく、一つの生命があり、その生命をのばすことでいろいろなことが解決されてきたのであるということについて、ご参考になればと思つてお話をしたいと思ひます。

### (1) ロータリー思想の発展

先づロータリーの思想はどのようにして起り、どんな過程をふんだのか、ロータリーの組織はどのようにして発展したのか、或は奉仕の各分野についてどういふ変化がおこりつゝあるかについて、皆さんにお話しをしたいと思います。

第一にロータリー思想の発生ですが、これは皆さんがすでにご承知のように1905年2月23日ポールハリスが5年間胸の内で煮つめた「多くの異なつた職業からたつた1人だけを以て組織し政治や宗教の制約なしに、互に寛容の精神をもつて集まろう」という基本構想を3名の仲間に打ちあけて賛成をされたことに遡ることになります。この時のポールハ

リスの意図は「一業一会員制の親睦団体をつくる」にあつたと考えられ、今日のような社会的な奉仕をやる団体ではなく、お互いだけの親睦団体をつくるということを考えたのであります。

翌1906年1月になつて始めてクラブの定款細則等が定められたのでありますが、その中にロータリーの綱領が記されております。第1条 会員の業務上の利益を振興すること。第2条 社交クラブに伴う親睦その他望ましい諸点を振興すること というのであります。いずれもこれは互惠主義とも云うべきもので、ここではまだ世のため人のためにという目的は見出せないのであります。従つて会員お互いだけがよいことをしていいのかという反省がすぐ生まれるわけであります。

シカゴクラブの2代目会長アル・ホワイトがその友人の弁理士ドナルド・カーターにロータリークラブへの入会をすすめたところ、カーターは互惠主義の説明をきいて、即座に入会を断りました。その理由として、この種の活動はクラブ内部の利益交換にすぎないし社会的な意義が欠けているので、このクラブには将来性がないというのであります。

アル・ホワイトからの報告をきいたポール・ハリスは直ちに定款改正を提案し、綱領に第3条がつけ加えられることになつたのであります。この第3条の目的は、シカゴ市の利益を推進し、その市民の中に市に対する誇りと忠誠の精神を普及することでありまして、ここに始めてロータリーは漠然とした社会的目的を自覚するに至つたのであります。カーターはこの話を聞いて喜んで入会しました。

1907年にポールハリスがシカゴクラブ第3代目の会長に就任するに当つては、3つの抱負をのべているのであります。一つはシカゴクラブを充実させること。第2は他の地域にロータリークラブをつくる準備をすること。そして第3番目として今日のコミュニテイ・サービスつまり社会に対する奉仕、地域奉仕というべきものを発展させたい というのであります。

1912年になると物質的相互扶助の原則は廃止されることになりまして、しかしこれにはかの有名な *He profits most who serves best.* を提唱したシエルドンの力に負う所が多いのであります。アーサーフレデ

リック・シエルドンはミシガン大学商学部を優秀な成績で卒業した販売学の大家でありました。彼はロータリーに入会后、ロータリーの社会的活動について、何か一般哲学上の概念で表現出来ないかと考え、販売学的思想より発する 売り手買い手の信頼関係がロータリーの相手方のために考えようとする奉仕概念と一致することを発見、熟考の末 この標語 *He profits most who serves best.* を得たといわれています。シエルドンのこの標語が発表されたのは1911年の第2回全米ロータリークラブ連合会のポートランド大会においてであります。実は同じ大会で、当時新設のミネアポリスクラブ初代会長フランク・ビー・コリンズによつて、ミネアポリスクラブが根本原則として採用している *Service not self.* (奉仕だ自己ではない) という標語ものべられたのであります。はからずもここでロータリーに2つの標語が併存することになりましたが、しかしこれら2つの標語の立場は必ずしも同一のものではなく、一方が実業倫理主義の立場とみられるのに対して、他方はロータリーの精神世界も遂に昇りつめて宗教の世界と同一になつたと見られるわけであります。この2つの立場は後までいろいろ議論を招くことになりますが、1915年サンフランシスコ大会では有名なロータリー倫理訓が採択されたのであります。またコリンズの *Service not self.* も後になつて *Service above self.* と改められて今日に至つております。

このようにロータリーの奉仕の概念は時日の経過と共にはつきりした理論をもつようになりましたが、ここにもう一つロータリーはロータリーを分裂の危機にさらしたといわれる論争を解決させねばならなかつたのであります。これはロータリーの奉仕が個人を中心に行うべきものか、団体中心に行うべきものかに関するものであります。私はロータリアンになりたての頃、ロータリーは奉仕団体であるという話をしたら、ロータリーの先輩の人が、ロータリーは奉仕団体ではない、奉仕をする人々の団体である、という話をされました。これまさに個人中心のサービスということが頭にあるわけであります。個人中心の論拠としては、第一にそもそもロータリーは職業人の集まりであつて、例会で会員各自が互に職業上のアイデアを交換し、その精神を体して 各々の事業所で営利事業に従事する各会員

の奉仕的態度こそロータリーの実体であるという考え方であります。一業から一名の会員しかいないので、それが団体として社会奉仕をやつても、どんな実りのある効果が得られようかというのであります。これに対して団体的奉仕を主張するものは、ロータリーは単に会員相互の協力に止まらず、社会事業をも行うところに奉仕団体としての意義があると主張したのであります。

かくてこの問題に決着をつけるため「ロータリークラブは団体として社会奉仕を行い得るや」という点について決議を求める提案が1923年のセントルイス大会に提出されたのであります。そしてこの対立を氷解させたのがテネシー州ナツシユヴィルクラブによつて提出された決議第34号—これは大事な決議でありますから手続要覧に全文がのつています—であります。この決議34号は何れの派にも絶対的な勝利を与えるものでなく、しかもその対立を見事に解決するという役目を果たした外、さらに社会奉仕の概念をロータリーの世界に確立するとともに、ロータリーの哲理に基づく社会奉仕の準則を明かにした点において高く評価されるべきものと考えるのであります。手続要覧—1978年の要覧45頁—にもこの決議に限りその全文が掲載されており、まことに味うべき文献の一つとなつていたのであります。今その詳細について述べる時間はございませんが、その要旨をのべれば、ロータリーは究極するところ利己や利他が相克する場合、利他を優先するという *Service above self.* の思想と、*He profits most who serves best.* という実践理論をもつ人生哲学である。ロータリークラブとは奉仕の理論によつて心を高める教育をし、これを団体として社会に対して実証し、個人として例会で得た境地を職場及び個人生活で実践し、さらにロータリアン以外の人にこれを鼓吹する目的を持つていているのであります。そして個人奉仕が最もロータリーの真髓に合致するものであるが、団体奉仕は個人奉仕の精神を訓練する場であるとしていたのであります。

この様にロータリーの思想ないし理念は、幾多先輩諸賢の血のにじむような実践討議の中から最善のものが生れてきたと申せるのでありまして、私はこれこそがロータリーが他に比類を見ない何人にも親しまれる人生に

おける実践哲学としての地歩を確立したとみるのでありまして、この思想の優秀性が今日の発展の礎となつていと確信するものであります。ここで一寸附言しておきたいと思いますが、ロータリーの友今年1月号に先般亡くなられた元R I 理事松本兼二郎氏の論説がのつており、その中で紹介されております各ロータリアンが社会関係において発揮する力とロータリークラブとの関係についてのまことに適切な例え話を一つご披露いたしたく思います。これは前記の23-34号決議が行われる数年前のことではありますが、第8代R I 会長レズリー・ピジョン—この人はカナダ人で、アメリカ以外からの初の会長—が行つたスピーチであります。それは狼の話ですが、「群れの力は狼である。そして狼の力は群である」という或る詩人の言葉を引用してロータリークラブとロータリアン個人の活動の相関関係について論じたのであります。「狼の襲撃力は物凄いが、その狼の群れの襲撃力は結局一匹一匹の狼の襲撃力の結集である。同時にまた狼一匹一匹の強烈な襲撃力は群を後楯にしているからである。」ということであり、狼にたとえて失礼ですが、一人一人の奉仕というのはクラブという後楯があつてこそ非常に強いんだということを言つてゐるわけであり、ロータリーの奉仕の主体はクラブであるべきか、それとも一人一人のロータリアンであるべきかの疑問に対して明快な回答を与えられたものといえると思います。

### (II) ロータリーの組織

次にロータリーの組織の点についてお話いたしたいと思つてゐます。

ロータリーの組織がいかに優秀なものであるか、その組織がどのように発展したかについてですが、ロータリーを全世界的たらしめたものは、思想ということもあるが、その組織管理が非常に優秀であつたという点があげられると思つてゐます。

ポールハリスが1907年にシカゴ第3代目会長に就任したとき語つた抱負の一つにロータリー運動を全米の各地に拡げようとするものがあつたことは先にのべましたが、はからずもこの運動はクラブ内のいわゆる親睦派といわれる会員には余り好まれず対立を招く要素ともなつたわけであり、ロータリーとしてはこの時願つてもない人材に恵まれたの

であります。それは1908年にシカゴクラブに入会したチェスリー・ペリーであります。彼はすぐれた団体管理の能力をもつた人であつて、シカゴの図書館の役人として非常によく同館を管理運営した人でありました。彼はロータリーの拡大に非常に熱心であつたが、ロータリークラブの統一管理を行い、そしてシカゴクラブもその構成の一単位となるような連合組織をつくることを思いついたのであります。ロータリーの今日の盛状は、実に彼の連合組織体構想によるものと申しても過言でないと思つてあります。この構想は全米各地にあつた当時の16のロータリークラブをその構成要素とする連合会であつて、共通の目的と意見の交換を通じての共通課題の共通の解決を目的とするばかりでなく、その規模はまことに広大で理想的には全世界をその管理範囲として各地域にロータリークラブ拡大を行うべき活動の中心をなすべきものとしたのであります。このようにして1910年に出来上つた全米ロータリークラブ連合会National Association of Rotary Clubsは、その後名称を変えながら今日の国際ロータリーへと発展したのであります。

その後のロータリークラブの設立状況は同じ年の1910年11月には早くもカナダのウイニペグにクラブの設立を見、1911年にはイギリスへと拡大発展することになりました。そこで1912年ミネソタ州ドウルズにおいて行われた第3回大会においては早くも全米ロータリークラブ連合会の名称を国際ロータリークラブ連合会と改称したのであります。この第3回大会においてはその名称の改正とともに初代会長にグレン・C・ミードを選任し、初代事務総長としてペリーが選ばれたわけである。ペリーはその後実に30年間にわたつて事務総長をつとめることになるわけですが彼がロータリーの発展につくした功績はまことに偉大なものがあつたのであります。

ロータリークラブ連合会を発足させるに当り、クラブと連合会との関係について一つの注目すべき論争がシカゴクラブ内において行われております。それは全米ロータリークラブ連合会がシカゴクラブの活動の自由を奪うものとなつては困るという懸念からでありました。各クラブの自主独立性を認めた上で、各クラブの協調を行うのはよいが、あれはしてはならぬ、

これはしてはならぬというのであれば、それは絶対許せないと主張するのであります。結局この論争は最終的にはアメリカ合衆国でも、それぞれ独立した各州が作ったのだから、各クラブの独立性を保障した上で、全米的な立場から高次の団結を行つてもよいのではないかということになり、連合会の規約が承認されたということでありました。この論争は、私はその後の連合会の運営に当つても十分に影響を与えていることが考えられ、先にご説明した34号決議の中にも、各クラブと国際ロータリーの関係についてのべた箇所に、各クラブは奉仕の實踐に当つて絶対的な自主権を有しており――、また国際ロータリーは――特定のクラブに対し――命令したり禁止したりすることは絶対にしてはならない、とはつきりうたわれるようになったものと考えるのであります。なお一方では国際ロータリーの任務としてクラブの運営をロータリーの綱領より逸脱しないように有益な示唆を与えるものとしております。国際ロータリーは後でのべますように統一クラブ定款の採用や細則を決定しますが、その活動についてはクラブが自主性を有する点が大きな特長であり、組織としてすぐれた点ではないかと考えております。

1912年国際ロータリークラブ連合会と改称後のその後の動きについて概観いたしますと、1915年のサンフランシスコ大会では、世界共通の標準クラブ定款を採用しようとする一つの動きが現われ、国際ロータリークラブ連合会と各クラブを直結する方式が採られるようになり、クラブの所在地を地区Districtと呼ばれる地域に分ち各地区に国際ロータリーの役員としてガバナーを置き、ガバナーが直接各クラブを指導監督するということを決意いたしました。アデイショナルメンバーの規定もこの時採用されたといわれております。1921年のエジンバラ大会では新たに国際平和に関する規定が加えられております。1922年に国際ロータリークラブ連合会は現在の国際ロータリー(R.I.)と改称されますが、この国際ロータリー定款も各クラブの標準定款もこの時始めて同一綱領も定めることになったのであります。この綱領は初めの部分に「ロータリーの綱領は次の事項を奨励且つ育成するにある」として以下6項目をかかげております。そしてこの時以降設立される各ロータリークラブは標準クラブ

定款の採択を法的に義務づけられたのであります。また1927年に至つてR.I.理事会はそれまで世界のロータリアン及びロータリークラブが行つたもろもろの実践活動をふまえて、ロータリーの奉仕を現在の四大部門に分類することを決定しましたが、1935年のメキシコシティー大会においては、この奉仕の四分類に合わせて綱領も従来の6項目から4項目に整理され、その後1951年のアトランティックシティ大会では従来の綱領がObjectsという複数制で定められていたのがObjectと単数の表現に改められて、現在の綱領になつたのであります。

このObjectsがObectと単数に改められた真意は、次にかかげる四つの奉仕活動はあくまで例示規定であつて、その背後にある綱領の精神は一つであり、したがつて将来発生しうべき千差万別な事態に対してロータリーがこの例示規定の具体的内容に拘束されることなく、未来永劫にわたるロータリーの発展の可能性を示しているものといわれているのであります。以上ロータリー組織の点より見てクラブの自主性の尊重や綱領の考え方などにロータリーが拡大発展するすぐれた可能性を秘めていると思うのであります。

#### Ⅳ 奉仕の分野の拡大

いよいよ本日の私のお話の最後の項目である奉仕の分野の拡大について申し上げたいと存じます。

先ず最初にクラブ奉仕であります。この奉仕は直接には奉仕の分野の拡大とは関係ありませんが、奉仕を行うについての基盤を育成する重要な分野であります。会員の維持増強、会員への正しいロータリー情報の提供、奉仕へのエネルギーを生み出すための親睦等何れも奉仕のための基盤をつくるという重要な部面を担当しているのであります。ことに例会は他の職業人との親睦による切磋琢磨を通じて奉仕の境地を高める道場ともいわれるのであります。クラブ奉仕の各委員会の任務はお互に密接に関連があり、クラブ奉仕の任務は全会員を一名の無関心者もないように、いかにしてロータリーの奉仕に集中させるかにつきるのであります。とかくクラブ奉仕というと、地味な目立たない雑事と思われ勝ちであります。ここにたとへば話をご披露したいと思います。

スペインのある旅行者が特別に立派な絵画が沢山画かれている山上の教会堂のことを聞きました。旅人は大きな期待と非常な不便をおかしてその人里遠く離れた場所にいきました。ところが、行つて中に入り見回した時、ひどく失望を感じました。絵画は活気がなく何等興奮させるものでもありませんでした。こんな絵画は一々見てまわる価値がないという考えになり出ていこうとしました。その時一人の小さな老案内者が彼に近づき、何もいわないで堂の真中に旅行者を連れて行きました。「さあご覧なさい」と彼はいゝました。

旅行者はびつくりさせられました。彼がホンの小斑点に過ぎないと思つた絵画も、今は光線がその強度を増し、色彩が変わるように角度をとるにつれて、美をもつて躍動していました。クラブ奉仕もそうであります。正しい場所とロータリー情報を通じて来る照明で、単なる日常運営に過ぎないと思われるものも活気あり、挑戦的なものとなるのであります。このようなたとえ話が文献にのつていますが、私はこの話の意味を十分に味わつてほしいと思います。

次に社会奉仕について申し上げます。社会奉仕の方針、心構えといつたものは先にのべました34号決議(23-34決議)に詳細にわたり記述されております。ご承知のように社会奉仕は地域社会の必要に応じて色々の取組むべき問題があり、また社会情勢の変化に即応して問題を先取りして解決していくことが大変重要課題となるものであります。とくに最近では環境保全、老人問題、都市安全問題等が提起されておりますことはご承知の通りであります。また青少年問題についてはロータリーとしてはこれを特に重視して、青少年問題の担当理事を設置したり、インターアクト、ローターアクトの育成に努力しているのであります。この分野の拡大は社会の情勢の変化と共に無限の拡大を見ることになると思います。ロータリーでは年々役員が交替しこのような会議が毎年行われていますのもロータリーとして社会情勢の変化に即応して新しい課題をさがしてそれに挑戦していこうという意図であります。この社会奉仕の取組み方について、かつてシカゴクラブの行つた公衆便所設置の運動についてご披露しておきたいと思ひます。この公衆便所設置の運動はただロータリーが金を出して設置

したという簡単なものではありませんでした。それはロータリーが中心になつて一つの社会的な運動をおこし、それを3ヶ年にわたつてつづけてついに成功させて、役所と一しょになつて立派な公衆便所をつくつたということであります。このロータリーが中心となつて社会一般に訴えたそのエネルギーは3年間も続いた非常に高いものでありました。これがそういうことをやる要因になつたのであつて、私はこれが本当のロータリー的な奉仕ではないかと思ひます。

次は職業奉仕に移りますが、従来から職業奉仕こそがロータリーの看板といわれております。しかしこれについて正しい認識が少いようにも思われます。国際ロータリーでも来年度より10月15日を含む1週間に新たに職業奉仕週間として制定することを決定しております。いかにロータリーが職業奉仕を重視しているかを示すものであります。日本のロータリーの創始者であつた米山さんの次の日本の第2代目スペシャル・コミッショナーをつとめられた井坂孝氏は「奉仕の生活というのは決してロータリーの専売ではない。古今東西至るところに無私の立派な奉仕生活を勧める教えというものは沢山ある。その中で人のためにつくす道はいろいろあろうけれども、日常不断にやれるのは自分の職業を通じての奉仕で、その実践が即ちロータリーなのである。」と言つておられます。まことにそのとおりであります。自分の職業に只一途に一生懸命になるだけでなく、職業を通じて社会に奉仕するのがロータリーの職業奉仕なのであります。企業の経営を正しい姿勢で行ふこと、具体的にはロータリー精神をもつてやるということであります。綱領には「実業及び専門職業の道徳的水準を高めること、ロータリアン各自が職業を通じて社会に奉仕するためにその職業を品位あらしめること」とあります。わかり易くいえば、ロータリーでいう職業奉仕というのは自分の職業に対し、誇りと愛情をもつてその経営には最大限の努力は払うが、その方針は単なる金儲けばかりを目的とするのではなくて、シエルドンの標語や四つのテストの精神に則り、企業の道徳的水準を高めさらにこの精神を同業或はその友人達にも勧め誘ふことになるのであります。このロータリーの職業奉仕は1930年代のアメリカの経済大恐慌時におい

てその真価を発揮したといわれており、四つのテストの創始者ハーバード・J・テラーは実際にこのテストを実行して、危殆に瀕した会社を再建したのであります。社会情勢は当時とは一変し企業を取りまく問題は一層拡大されております。ロータリーは職業奉仕の実践に当つて、売り手と買い手、関連職業間、同業者間、及び労使関係の場面に奉仕の理念を持ちこむことを示唆しております。

最後に国際奉仕の分野についてふれてみたいと思います。1914年に第一次世界大戦が始まると、避難民救済、傷病兵慰問の事業をロータリーは手がけることになり、ここに国際奉仕の分野が開かれたといわれておりますが、1917年アメリカ合衆国も参戦するに及び、シカゴでは従軍兵士慰問の諸活動を行うため戦争問題担当委員会が設置されました。そして戦時のみならず平時における国境を越えた奉仕活動が、結局は戦争を防止し国際親善のために有意義であるとの発想を持つに至つたのであります。即ち1917年国際ロータリーにおいて採りあげられた「国際理解と親善増進のための基金」の設立がそれでありました。これは当時のRI会長アーチ・C・クランプの発案によるもので現在のロータリー財団の始まりであります。1921年に国際平和に関する規定が設けられたことは前述いたしました。その後ロータリーでは国際理解に資する制度としていろいろのことが発想され実施されているのであります。1946年にはロータリー財団奨学金制度が発足いたしました。1949年にはロータリー財団委員会は、侵略され荒廃に帰した国々において戦時中大抵中断されていた科学・医学及び産業研究のために、2口の特別奨学金授与を認めたものであります。1965年に至りこの制度の適用が研究グループ交換、専門的訓練のための補助金に拡大されると共に、これらと相前後して、国際青少年交換計画が実施されることになつたのであります。国際青少年計画への指針が1963年に発表されております。日本でも国際理解と親善を目的とした制度として、1953年東京RCに日本におけるロータリー創始者米山梅吉氏を記念して米山基金が設立されましたが、1966年広く国内の他のRCもこれに参加することになり、1967年財団法人ロータリー米山

記念奨学会として活動していることはご承知の通りであります。また最近とくに重視されているものとして世界社会奉仕事業があります。私は只今地区の世界社会奉仕委員長をつとめております。世界社会奉仕はWorld Community Service とよばれております。これは何を意味するかと申しますと、今やCommunityは単なる一地域のCommunityではなくWorld Communityとして把握されるに至つたということであります。相異なつたCommunityとCommunity間の国際親善という様なことではなく、一体として認識された大きな地球社会への奉仕ということであります。そしてその萌芽は早くも1921年エジンバラ大会において国際奉仕部門が確立された時のロータリーの決議の中に見出されるのであります。これは手続要覧の国際奉仕の項の冒頭に数次に亘る理事会決議の全文がのつておりますので、お読みいただきたいと思いますが、その中に「ロータリアンは世界中の地域の中で何処かの貧困は、全部の繁栄を阻害することを認識し、世界中の国民の生活水準を改善する運動を支持する」というのがあります。これが発展したのが世界社会奉仕の概念といえるのではないかと思います。そしてこれを具体化したのが、1962-3年度アジアから初めてのRI会長として就任されたNitish・C・Laharryーインドーの構想にもとづくものであつたのであります。彼は九州にもやつてきましたので古いロータリアンの方はご存知と思いますが、彼のターゲットは「内部に火を燃やせKindle the Spark within.」というもので、また「世界は一つ」Oneness of the worldという信念の持ち主でもありました。世界社会奉仕もこの彼の信念に基いて生まれたものでありました。彼の構想は発展途上国にあるロータリークラブがホストとなつてその地域の中小企業者のための研修会をつくり、これに対し先進国の適当なロータリアンをコンサルタントとして送り込むというものであり、Small Business Clinicと呼ばれたものでありました。しかしこれは残念ながら予期した効果をあげずに終りましたが、その構想は次年度のMiller会長に引継がれ、今度はあえて中小企業と限定せずに広く発展途上国を援助する道について構想をねつたものでありました。そうして国際ロータリーが奉仕の機会についての調査集計を始めたのが、今日のRIにあるW・C・S Project Libraryとよばれているものであります。手続要覧には「世界社

会奉仕は或る国のロータリークラブ又は地区が、他の国のロータリークラブに援助を提供して、そのロータリークラブが立案した自国の生活水準の向上に役立つ計画の遂行に協力し、かくて双方の地域社会間に国際理解を増進することを目的としたプログラムである」とされています。私が重要視したいのは、その地のロータリークラブが立案した自国の生活水準の向上に役立つ計画ということでありまして、これは援助をうける側のロータリークラブを先ず奉仕に立上らせる所に意味があるものと考えております。乞われるままに、ただお金や資材を供与するという様なことは、国際的な視野で考えた時、全く「焼け石に水」でありまして、先方の地域の問題は先ずその地域のクラブが卒先して責任を持つべきものであり、受ける側の指導者が自ら立上る所に意義があると考えられるものであります。最近の世界情勢をみますと、日暮れて道遠しの感はありますが、現在の国際政治機構の関与し得るものには限界があることが認められる現状よりして、政治からは全く自由な立場にあるロータリーの活動の分野が無限にあることを痛感せざるを得ないのであります。国際ロータリーにおいても今回新たに創立75周年の記念基金の設定を計画されており、全く画期的な保健、飢餓追放、人間性尊重のいわゆる3H Programを提唱されておりますことは、ロータリー史上正に注目すべき出来事と考えられるのであります。これは是非成功させなければならないと存じております。

以上ロータリー奉仕の各分野について時代の要請とともに奉仕の分野が拡大され、今後とも限りなく拡大を続けて行くであろうことを考えてきたわけであります。

ロータリー思想の展開、組織の発展についても時勢に応じ、よりよいものが創造されて行くでありましょう。奉仕の機会についてもロータリー精神の適用について、たえず新しい分野を開拓し、考究革新をはかつて行くことが、ロータリアンに課せられた使命であり、ロータリー発展の道であると信ずるものであります。

以上申しのべてまいりましたが、途中いそぎまして申しわけなく思います。時間がまいりましたのでこれで私の話をおわりますが、ご参考になれば幸いと存じます。ご静聴ありがとうございました。

# 部 門 別 協 議 会

## 記 録

部門別協議会	カウンセラー	リーダー	副リーダー	記 録
クラブ奉仕(佐世保南)	七 條 達 夫	浜 田 進	江 崎 梅太郎	高 橋 利 一 喜 多 徹 富 高 道 敏
職業奉仕(島原)	田中丸 善三郎	檜 崎 次 男	西 田 正 剛	大久保 昇 大 塩 恵 宏
青少年奉仕(長崎北)	本 郷 芳 郎	脇 山 慶 一	内 山 秀 明	森 内 三 次 宮 村 通 敏
新会員(長崎南)	渡 辺 喜 海	山 田 遼	松 藤 悟 司	江 口 辰 夫 高 稲 達 雄

## クラブ奉仕部会

カウンセラー 七條 達夫 (雲 仙)

リーダー 浜田 進 (佐世保南)

### 浜田リーダー

この度私はIGFのクラブ奉仕部会のリーダーを仰せ付かりましたが、私にはそのリーダーとしての資格がないからとご辞退申し上げましたが、先程お話がありましたように、ロータリーでは云われた事はやらなければいけないと云うことで、止むなくお引受けしました次第でございます。

何をどの様にしたらいいものか大変苦慮を致しましたが、私は過去のインターンティ・ゼネラル・フォーラムの歴史をみるために、今迄の記録を佐世保クラブの吉富さんをお願いして借り出してみました処、その10数冊の記録の中に折紙が入つておりました。つまり、ここを読めという様なご指示であつたろうと思います。通常、本を借用する場合、どなたも貸してはくれるでしょうが、それはたゞ単に本を貸してくれるだけであります。然しその中に折紙をつけてまでして頂くということは、一体何であろうかと私は考えました。つまり、それはロータリーで云うところの“グッドウィル”即ち善意と云うものが、そこに在るのではなかろうかと考えました。私共はかつてロータリーの中で、“相手の身になつて”と云う言葉を勉強しました。こういうことが、そこに善意として現われているのだと思い、単なる一つの所作ではありましたが、非常に感動したのであります。



このことは、ロータリーの色々な奉仕のアクションをする場合に“グッドウィル”即ち善意をこれからますます広げねばならないのではないかと云う実例を、私は身をもつて体験したのであります。

さて、クラブ奉仕については、先程清島パストガバナーから色々そのよつて来たる理念及び歴史などのお話を伺つたわけですが、今日は、七条パストガバナーを、カウンセラーとしてお願いしておりますので、今一度、クラブ奉仕についてのお話を承りたいと思います。

#### 七条カウンセラー

国際ロータリーの中で、いろいろ年間行事が執り行なわれていますが、このIGFと云う会合は、私から申すまでもなく皆さんよくご存知のことと思います。今日は、クラブ奉仕部門のカウンセラーを仰せ付かつたわけですが、先程も、清島パストガバナーから、クラブ奉仕について詳細な説明がありましたが、会を開く前に、ロータリーに於けるクラブ奉仕に就いて一言私なりの意見なり、考えを述べさせて頂き、本協議会の参考の一助にさせて頂ければ幸いかと思います。

これに先立ち、この部会のリーダー浜田さん、副リーダーの江崎さんには、大変長期間に亘り、この協議会がうまく、スムーズに、また実のある協議会になる様に変なご苦労をなされたことに感謝の意を表したいと思います。

このクラブ奉仕は、ロータリー奉仕の中で最も基礎的な奉仕活動であり、その目的、任務は、綱領第一項に、奉仕の機会として知り合いを広めること、と記載してあります。ロータリーの発展史を繙いてみると、ロータリーには、先づ会員の親睦があり、この親睦活動から職業奉仕が生まれ、社会奉仕へと発展し、国際奉仕へと展開したわけであります。今日の、ロータリー運動を進める車の両輪としては、親睦と奉仕にあるのではないかと考えます。この二つの活動が両々相俟つて始めて、ロータリーの理想を進めることが出来るものと確信しております。

この親睦と云う土壤から自然に奉仕と云うものが芽生えてくるものであり、そして花が開くと云うのが、ロータリー独特の奉仕活動であります。換言すれば、親睦から奉仕の理想が生まれるシステムになつていますが、それは毎週開かれている例会にあると思います。例会に出席する様にとの出席委員長の苦労

があるわけですが、毎週の例会に出席する事によつて始めて、会員の親睦が得られるのではないかと思います。奉仕の理想を高めるのも、例会に出席して始めて成し遂げられるのではないかと考えられます。ロータリーの目的に掲げた立派な例会を持つと云うことは、このクラブ奉仕部門が統轄しているのであります。即ち、会員の親睦を計かり、また友好の前進を計かる事は、内部に対する対内的奉仕活動であります。クラブ奉仕は、クラブと云う建物の基礎工事に当たるのではないかと思います。

この様にクラブ奉仕部門が良いか悪いかは、他の奉仕部門に影響する事が大きいと考えられます。即ち、クラブ奉仕によつてクラブ運営が円滑に行なわれる事によつて始めて、職業、社会、並びに国際奉仕の成果が生まれるものと考えられます。この様にして立派な例会を持つことは、始めに立派な会員を集めることであります。その為には、職業分類、会員増強、会員選考委員会があり、また親睦を深める為には、親睦委員会、会報、プログラム委員会、併せてSAAと云う大きな委員会があり、また、ロータリー情報委員会、雑誌、広報委員会等があり、これらの委員会の仕事を連絡調整し、アドバイザーの役割を果たし、立派な例会をもつクラブとしてクラブ運営に当たるのがクラブ奉仕担当委員会の務めであると思います。

本日はリーダーの下に忌憚のない意見を発表して頂き、実のある協議会にして頂きたいと存じます。

新家ガバナー

私は公式訪問の時に、クラブ奉仕委員会の基礎になることは、親睦と情報の二つの柱にあると申し上げたと思います。これさえ旨くいけば、出席は自から向上すると思います。特にロータリー情報については、国際ロータリーそのものが過渡期に来ており、ロータリーの規約が、こゝ数年の間に変化がみられ、従来タブーとなつていた問題も近年とりあげられております。例えば昨年国際大会で問題となりました女性の加入の問題、こう云う問題でさえ、アメリカでは可成り議論の対象になりつつあります。そういう事で、ロータリー情報に特に神経をはらつていないと、流れについてゆけないことになるので十分に重視して欲しいと思います。と同時に、皆様の中で、ロータリーの将来の在り方について意見がありましたならば遠慮なくガバナーまで申し出て欲しいと思いま

す。ガバナーとしては、自分の年度ではR I 会長の方針を批判することは出来ない立場であります。R I からはいろいろな意見をきいて参ります。例えば、10 数年前筑後市で I G F がありましたが、その時私はクラブの会員選考委員長をしておりました。当時会員選考については14 段階という厳重な関門があつたわけですが、恐らくどのクラブでもこの様な選考はやつていないだろうから、せめて5~6 段階にしたらという意見を申し上げたが、とてもR I では受けつけてくれないだろうと云うことでした。然し5~6 年後に現在の6 段階の選考基準になりました。この様にR I そのものも次々変わるものですから、情報には特に注意して頂くようお願いいたします。（拍手）

浜田リーダー

ありがとうございました。それでは只今から予め各クラブにアンケートを出しておきましたので、この資料を基に勉強させて頂きます。お手許の資料のピンク色がアンケートの要約をしたものでございます。ブルー色の資料は、各クラブよりアンケート回答を要約したものであります。

左側の番号順は県内のロータリークラブ創立順に配列してみました。早速、設問の(A)から始めて見ます。

(A) クラブ奉仕委員会の次の小委員会で、本年度特に力を入れている委員会を3ツあげて下さい。

1. 出席 2. 職業分類 3. 会報 4. 親睦活動 5. 雑誌
6. 会員選考 7. 会員増強 8. プログラム 9. 広報
10. ロータリー情報 11. S A A

この11の委員会の中で各クラブがどの委員会に重点をおいておられるかを集約しますと、次の結果が出ました。

1. 出席に重点をおくクラブ	15 R/C	構成比	25.0 %
2. 職業分類は	0	"	0 %
3. 会報は	4 R/C	"	6.7 %
4. 親睦活動は	17 R/C	"	28.3 %
5. 雑誌は	2 R/C	"	3.3 %
6. 会員選考は	0	"	0 %
7. 会員増強は	6 R/C	"	10.0 %

8. プログラムは	8 R/C	構成比	13.3%
9. 広報は	2 R/C	"	3.3%
10. ロータリー情報は	6 R/C	"	10.0%
11. S A A は	0	"	0%

以上のようになっており、先程七條ガバナーのお話しにもありました通り、第1位が親睦、第2位出席、第3位プログラムとなつております。各クラブ共やはり出席することが第1義的で、特に親睦からスタートすることにより、例会を楽しく有意義にしようという配慮がなされていると思います。

(B) 上記11の小委員会以外に委員会があれば、その委員会名及び、その内容について

浜田リーダー

この件につきましては、佐世保クラブ、長崎南クラブ、福江クラブがありますので、各クラブよりその名称及び内容についてご報告を願います。尚、ご発言の際は必ずクラブ名とお名前をお知らせの上ご発言願います。

佐世保クラブ（浅井会員）

佐世保クラブには、文献委員会というのがあります。この委員会がいつ頃から出来たのか私は知りませんが、かなり古くから文献委員会が設立されております。そしてこのことを会員ひとしく誇りに思つております。文献を持たない、読まないロータリアンは大海で船長が海図を持たないに等しいという考え方に立脚しております。この文献等は日本語版の外、内容を正確にするために英文版もあり、約220種類に及んでおります。そのカタログは全会員に配布してございます。特に親和銀行さんのご厚意で私共クラブの「文献倉庫」を設けており、各種文献、スライド、報告書、その他クラブの重要文献や認証状なども倉庫に整然と保管されております。その内容はクラブ奉仕関係で73種、職業奉仕30種、国際奉仕30種、社会奉仕関係54種、財団関係14種、その他が7種でございます。その他ロータリアンを勉強するための基礎的資料を15種類ほど用意されております。尚私共のクラブでは定款細則の変更を致すべく、目下準備中でございますが、その中で文献委員会の定義を次のように定めてい

ます。この委員会は、

① ロータリーに関するあらゆる文献を収集管理し、クラブ運営のために情報資料を提供する。

クラブ定款細則の改定には最も新しい資料に基づき、その試案を製作定義する。

② クラブで作られた文献を収集整理し、クラブの歴史の編さんに資する。

③ 永久保存する重要文献を区分し、その保管の責務をもつものとする。

以上でございます。

浜田リーダー

大変詳細にわたりご報告頂きありがとうございました。佐世保クラブに深い敬意を表します。この他長崎南クラブでは記録保存委員会、福江クラブでも記録保存委員会、福江中央クラブでは記録委員会がありますので、ご報告を願います。

長崎南クラブ（浅井信一会員）

創立以来15年になりますが、5周年記念の時に創立時の記録不備を痛感し、これを契機に正副委員長を設け、毎週例会の記録、文献、写真等の保存に心掛け現在に至っております。

福江クラブ（井上会員）

私共も創立10周年の時に苦勞をしたので、4年前に記録保存委員会を設けたのでございます。雑誌と会報を分類せず、雑誌会報として1つの委員会組織で構成しています。記録保存委員会は雑誌会報とは個別にしてクラブ奉仕の中に設けています。主として①講演、卓話の録音（テープ）保存、②週報、ガバナー月信の保存、③クラブ奉仕の写真撮影並びに保存、④各年度の出席表の保存及び創立以来の出欠一覧表の作成。⑤その他重要保存すべき書類を幹事と相談の上保存するようにしております。以上の5点であります。

浜田リーダー

有難うございました。各クラブ共ユニークな委員会を作つて頂いておりますが、記録保存ということは非常に大切なことでございますので、各クラブ共この点充分な配慮がなされますようお願い申し上げます。

ついでに今回調べましたことを若干ご報告申し上げてみたいと思います。先程、

申しあげました親睦の重要性からして、IGFに参加された21クラブの総予算は181,154,556円であり親睦に18,105,000円約10%が親睦委員会の予算でございます。1クラブ平均総予算は8,626,407円で、親睦の予算は862,142円です。同様のことを日本全国1427RCに1クラブ900万円平均とすれば128億4300万円の総予算、親睦に90万円を使うとすれば、12億8430万円が親睦に使われることになります。RI75周年記念事業に1人12,000円を寄附しますが、日本の全ロータリアン78,522人で実に942,264,000円という数字になります。全世界のみなさんが、全員寄附されますと約100億円の資金が集ることになりますので、この記念行事についても、単に寄附行為のみでなくRIの行事の行方も注目していいのではないかと申した次第でございます。ついでに出席率を調べましたところ、私共の270地区は全国23の地区で第6位に位置し(82RC, 4498名, 出席率95.94%=53年11月資料より)かなり良い方でございます。なかでも、ロータリー財団は全国でもトップクラスであり、特に佐世保クラブの7,800%が大きく貢献しているようであります。

(休憩10分)

#### ・広報活動の具体的事例について

長崎東クラブ(小田会員)

広報活動は大変むづかしいことで、先般福岡での協議会に出席してお尋ねしたのですが、どうも理解し難いのが実情です。心に残りましたのは、こちらからお知らせするよりも、新聞、マスコミ関係の人がむしろ取材にくるのが基本だということを心に銘じた次第です。マスコミ関係に詳しい人が委員長になるのがよいと思う。他の社会活動よりも企業の活動の充実が第一でそれをPRするのが大切ではなかろうか。具体的には弱者である身障者、盲啞学校の援助等で新聞にとりあげてもらった。要はロータリーそのものを一般社会に良く認識して頂く事が先決であろうと思います。

松浦クラブ

会員が少いので、週報でせい一杯だが、一生懸命やる以外にないと思つている。

雲仙クラブ

雲仙は観光地であるので、毎年雲仙つつじの草刈り清掃を行つているが、新

聞が報道してくれました。

・例会の司会について

浜田リーダー

例会の司会を幹事，S A Aのいずれでやっているかをアンケートを求めましたところ，幹事でやつておられるクラブが9クラブ，S A Aが8クラブ，会長というところが4クラブありました。主として長崎地区は会長が司会をする例が多い。ご意見をお聞かせ下さい。

長崎南クラブ

例会には幹事報告というものが必ずあるから，会長がビジターを紹介し，食事のあと会長自らが“幹事報告を願います”と言つて幹事に報告させるという慣例をとつています。

大村クラブ（高瀬会員）

別段特約はありませんが，前々からS A Aが司会を進行している。S A Aが色々の情報を集めニコニコボックスもS A Aがしており，その点便利であります。

佐世保東クラブ（田中会員）

特別の理由があつて幹事が司会をしている訳ではありません。私がS A Aの時に司会をやつた事もありますが，現在幹事が司会をしています。幹事が特に良いという理由も別段ありません。

長崎クラブ（沢山会員）

アンケートには，幹事，S A Aのみ記入してありましたので，幹事の方にしておきましたが，長崎クラブの実体は会長が司会をやつています。

浜田リーダー

申し訳ございません。各クラブいろいろとご発言を頂きましたが推奨クラブ細則（手続要覧324頁）には，会長の任務として“本クラブの会合及び理事会に於いて議長を務め，その他その職に附随する任務を行うことをもつて会長の任務とする”と書いてあり，又手続要覧36頁には，クラブの会長は，“クラブの諸会合において議長となること。各会合が注意深く計画され，且つ開会及び閉会が時間通り行なわれるよう注意すること。”と記載してあります。一方37頁“クラブ役員を選び方”の後段には，“クラブは会員の潜在的指導

能力を慎重に調査し、且つ会員たちを委員に任命するのみでなく、時には例会の司会をさせたりして大いに会員の能力を発揮させることに努めるよう示唆されている。”と云う言葉が入っています。これから判断しますと、すべてのクラブ運営の最高責任者は会長であると考えられますが、会長の任命により、幹事またはSAAが司会をしても良いのではないかと存じます。この件についてカウンセラーのご意見を伺いたいと思います。

#### 七條カウンセラー

クラブの司会は当然会長がやるべきだと存じます。私が特に感じましたことは一昨年国際会議に出席しました所、7日間に亘る会議の間、当時のマンチェスター会長が7日間を全部一人で司会をしておられます。それもあらゆるロータリーの諸会合において、会長並びにガバナーがその会合の指揮をしておられ、定款のように例会の司会は会長がやるのが当然だと思います。然し幹事なり、SAAでやつていけないということはありませんけれども、基本的にはやはり会長が司会をする方が至当と考えられます。

#### 佐世保西クラブ（幹事）

当クラブでは、従来幹事が司会していましたが、多忙でありますのでSAAに司会させるようにしました。

#### 福江クラブ（井上会員）

福江ではSAAが司会しています。例会時に会長は非常に忙しいので、SAAが開会30秒前に着席のアナウンスをしています。

#### ・例会日、会場、時間の変更について

#### 佐世保南クラブ（山崎会員）

わがクラブは、創立以来約21年になりますが、一貫して例会日及び例会場の変更は一切致しておりません。

#### 長崎南クラブ

当クラブも一切変更しないし、また変更の必要に迫られたこともありません。

#### 七條カウンセラー

例会は定められた通り開催するのが原則ですが、各クラブにそれ相当の理由があれば、近隣クラブに事前通知することにより別段問題はないと思います。

浜田リーダー

事前通知することにより、例会の変更も結構でございますが、近隣クラブ外の遠隔地ビジターは変更を知らないわけでございます。このような場合ビジターに対し失礼にはならないでしょうか。東京ではビジターも相当多数になりますが、この点如何なるものでございましょうか。

七條カウンセラー

東京、大阪あたりでも変更は可成りあります。

・週報について

浜田リーダー

各クラブとも大半が4頁建てを原則として発行されているようですが、島原クラブでは、不定期とかその都度と回答がきております。その実態は如何なものでしょうか。

島原クラブ(本村会員)

当クラブでは、内部的に組織化されておりませんので、3ヶ月に1回、又は6ヶ月に1回まとめて出しているのが実状です。たゞ毎週1頁程度の簡単なものを出しているにすぎません。

浜田リーダー

佐世保クラブでは6頁建ての、週報の外に季報を出されるそうですが、実状をお知らせ願えませんか。

佐世保クラブ(浅井会員)

年に二回程度季報を出すようにしております。

・会員卓話について

浜田リーダー

例会の魅力は、卓話が素晴らしい程より一層効果を発揮します。会員の卓話が少ないクラブで5回、多いクラブでは30回も計画されております。会員卓話についてご意見ありませんか。

七條カウンセラー

昨年私は各クラブを公式訪問いたしました。長崎市や佐世保市では外部の卓話者を招へいし易いのですが、それ以外の地域では、非常に困難な場合があります。従つて外部の卓話者も結構ですが、むしろ会員の卓話を出来るだけ多く

して頂きたいと要請して参りました。会員に卓話をお願いすると、気おくれをする会員もおられますが、卓話は自分の生いたちや、自分の職業、自分の趣味、自分のスポーツ、或いは、自分の家庭教育のことなど身近なことを話して頂くことが大変有効ではないかと考えます。

・ロータリー情報について

大村北クラブ（佐古会員）

ロータリー情報は、何と申しましてもクラブ奉仕の中心であります。毎週3分間づゝ情報を提供しております。ロータリーの生いたち、クラブ奉仕の問題を実施しております。

佐世保クラブ（浅井会員）

本年に入り、早朝8時から9時まで第二例会日の朝、早朝ロータリー情報朝食会を実施しております。これには会長、幹事、四大委員長、青少年奉仕委員長、情報委員その他、新入会員にも呼びかけて、毎回15名前後の出席でございます。尚朝食の経費は個人負担でやつております。

・クラブフォーラム、及びアッセンブリーについて

浜田リーダー

クラブにより色々の回答が寄せられておりますが、アッセンブリーは少くとも年六回実施することになっております。（要覧312頁）時間が既にございせんので、以上をもちまして協議会を終了させて頂きますが、私が不勉強の為に皆様にご迷惑をおかけした事と存じます。幸いにして、七條カウンセラーの適切なアドバイスと皆様方の積極的なご協力により、恙がなく任務を完遂させて頂きましたことを心から厚くお礼申しあげて閉会と致します。長時間有難うございました。（拍手）

## 職業奉仕部会

カウンセラー 田中丸 善三郎 (佐世保)  
リーダー 檜 崎 次 男 (島原)

リーダー

ロータリーに於ける職業奉仕は、奉仕活動の中でもその根幹をなすものであれば私達も教育されて参りましたが、その理解が具体例になると難しく、その難しい問題に長崎の片田舎である島原クラブがリーダーとして割当てられ、誠に恐縮しておりますが皆様に教えて頂く生徒のつもりで、リーダーを勤めて参りますので何分宜敷くお願い致します。最初にお詫び申し上げますが皆様にお配り申し上げました資料ですが最初のページの「四つのテスト」ですが大切な「言行はこれに照らしてから」という文句が落ちています。原稿は完全なものを印刷屋に渡したのですが印刷屋にて脱稿しました結果としてミスプリントとなりました。恐れ入りますが皆様のペンにて「言行はこれに照らしてから」と挿入願います。誠に重要な事をミスしまして申訳なく最初におことわり申し上げます。では最初にカウンセラーであります 田中丸パストガバナーからお話しを伺いたいと思いますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 職業奉仕部会田中丸カウンセラーの基調講演

職業奉仕はわかりにくいなどという声も時折りきかれますが、「これこそロ



ロータリーの奉仕の本通りである」と私がガバナーの時 マンチエスタージュニア会長は申しておられました。本日は十分討議をつくしてロータリー奉仕の中心である職業奉仕の意義と実践について 探究してもらいたいと思いますが、それに先立ちまして 私の考え方の一端を述べてご参考に供したいと思います。

ロータリーは1職種1会員を原則とします。従つてロータリアンは職業を通じてその職種の代表者として社会に奉仕するのであります。職業奉仕、つまりヴオケーションナルということばは手続要覧に「社会人の一定の義務、稼業、専門職業、或は職務を指すものである」とありますが、ロータリーが ビジネス、サービスともいわずオキュベーションサービスともいわずにヴオケーションナルというのは、そのことばに単なる職業という意味よりもつと深い意味があるからです。天命によつて従事している仕事、つまり天職というような やゝ宗教的な意味を持つて居るのです。だからロータリーは職業奉仕のことをヴオケーションナル、サービスというのです。もつとも、西欧社会ではビジネスマンとプロフェツショナルマンとの間にはつきりとした区別があつて、その溝はなかなか埋めがたいものがありました。金儲けを直接目的とする企業経営者と、専門的知識によつて社会に貢献し その結果として収入を得る医師や弁護士や学者などの専門職業人とでは、職業の本質が違ふと考えられていました。従つて、同一のレベルで協力しあふことは なかなかむずかしいと思われていたのです。所が、ポール、ハリスは この違いは手段の違いであり、或は力点のおき方が違ふのであつて本質的に違いがあるわけではないと考えました。

そこで、そのそれぞれから一人宛の代表を選んで会員とし、毎週例会に出席しお互に知り合うことによつて 心と心のふれ合いの中から友愛と協力が生れ、お互に高め合う努力の中に奉仕の理想を生み出せると考えたのです。ロータリーで出席が大切な要素となつて居るのはそのためです。ロータリーではソリダリティということばをしきりに使います。ソリダリティというのは目に見えない紐のことです。神の目にみえないインビジブル、ハンドに導かれた糸のつながりを日本では縁と申しますが、言わば「因縁の自覚をもつて企業経営の根底に奉仕の心をおく」というのがロータリアンであります。ロータリーは1業種1会員制でありますから地域社会の全住民に対しては、ほんの一握りの職業人の集りに過ぎません。必要とする奉仕の総量から見ますと人員も財源も到底足

りるものではありません。ロータリでいう奉仕はそんな必ずしも即物的なものをさしているのではないのです。むしろ精神的態度に重点をおいております。地域社会の良質な職業人が例会に参加することを通じて自己改善のエネルギーを地域社会に還元すること、それこそロータリーの奉仕であります。お互いに自分の短所を他のロータリアンを鑑として学び少しずつ自己改善をとげ職業を通じて、その改善されつゝある状態を實踐して社会に貢献していくことが「職業奉仕」の心であります。綱領に、実業及び専門職業の道德的水準を高めることとあるのは、英語の原文では High ethical standards in bussiness and proffession となつていますね。道德的と訳してありますが、むしろ言葉のニュアンスとしては倫理的に近いと思います。つまり、倫理的な水準を高めて自己の職業の品位と価値を維持させようというわけです。この意味をフエンして 手続要覧 は「自己の職業に於ける成功は、これが社会に対する奉仕の結果としてから得られた時に立派な大望として評価すること。然し、不当な便宜、権利の濫用、或は背信行為によつて生ずる利益や名誉はこれを受けないこと」と付言してありますし、又「健全な取引は当事者全部に満足をもたらすやり方によつて行わなければならないことを認め、かつ、自己の職業に於て 業務又は責任の厳密な限界以上に奉仕することを特権と考えること」として 積極的な奉仕を特権と思つて行えと述べているのです。そして、その推進の一つの方法として四つのテストが使われるわけです。

ご承知のように「四つのテスト」はもともとロータリーが作り出したものではありません。1933年に、ハーバート、テイラーが年収3万ドルの裕福な食品会社の地位をすて、40万ドルもの赤字をかかえ倒産寸前にあつたアルミ会社の社長に就任しました。どうしたらこの会社は建て直るのであろうかと考えた時に、まず必要な事は従業員を結束し 団結を固めることだと思ひたりしました。そうして考えたのが「四つのテスト」です。彼自身はもちろん役員も従業員もすべてがこの「四つのテスト」を守つて 一丸となつて仕事に励んだ結果、1941年には立派な配当が出来る会社にまで復活させることが出来ました。

この四つのテストは1950年ラダー会長によつてロータリーの倫理基準に準ずるものとして取り入れられたのです。日本語訳は手島知健ガバナーによつて

全国のロータリアンに呼びかけ公募して選定されたものであります。ロータリーノートをお持ちでしたら見て下さい。左の頁です。（言行はこれに照らしてから）

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1. 真実かどうか。     | 1. みんなに公平か。       |
| 1. 好意と友情を深めるか。 | 1. みんなのためになるかどうか。 |

この四つはロータリーの倫理の基準なのです。「尚取引において売手買手の双方が満足するためには」この信条が必要でありますし、又、「事業が利潤を受けるだけでなく社会に奉仕する途である」ためにはこの四つのテストに表現される精神的態度が絶対必要な条件であります。「みんなのためになるかどうか」この精神が実現されて はじめて「利潤は求めるものではなく、与えられるもので、その仕事に関係した人々に洩れなく与えられる天恵である」という高い道徳的思考も生れてくるのであります。そうしてこれこそフランク、ユニズのいう「Service about self」「超我の奉仕」であり、フレデリック、セルドンの「He profits most who service best」「最もよく奉仕するものは最も多く報いられる」という考え方なのであります。本日は檜崎リーダーの指導のもとにロータリーの職業奉仕本来の姿を十分探究して、それぞれの職域に於て実践をして頂くようになりますように心からお祈り申し上げて、基調講演といたします。

田中丸パストガバナーから懇切にお話しを承つておりますと、おぼろげながら職業奉仕なるものの輪郭がわかつて来たような気がいたします。本当に有難うございます。では早速討議に移りたいと思います。皆様に5つの 問をお送り致しました。ところが皆様良く勉強しておられまして 早速返事を頂きましたが、諫早と長崎東 それから長崎南 佐世保東からはまだ届いておりません。或は今日お持ち願つていますか。お持ち願つていれば本日提出願いまして まとめてやつて参りたいと思いますが、諫早の方は---- いかがですか。皆さんお持ちでない様ですね。はい結構です。

第1問、貴クラブにて職業奉仕は委員会として、すでに実施あるいは計画中のプログラムをご報告下さい。

これにつきましてお答えが いろんな形でかえつて来ましたが、やつぱり一番多かつたのは この「四つのテスト」の活用でありました。それで早速ユニークなところからお願いしたいと思いますが、福江クラブのバス停、公民館、学校と、人の多く集まる場所にとりつけていると言うのは非常に感心させられました。

福江クラブ 青山君

ちようど会場にかかっている額縁ぐらいの大きさ、横2メートル縦30センチ位の看板でございますがそれに「四つのテスト」を看板屋で製作しまして、建物や石垣それから人のよく通るような所へとりつける予定でございます。まだとりつけておりません。

梶崎リーダー

次に長崎クラブでは実業及び専門職業委員会、雇主従業員委員会をお作りになり活動して居られるようですが、

長崎クラブ 吉田君

本日は職業奉仕の担当理事の代理です。私から分かる範囲でお答えしたいと思います。私は職業情報の委員長をいたしております。今ご指摘のように四つの部門を作っておりますが、それぞれにはつきり離してやるべきものであつて、かなり重複するものがございます。それで月1回例会のはじめや 例会後に情報交換をやりお互いに協力してやれるものは一緒にやるということで、今現在行っております。例えば優良事業所だとか 優良従業員の表彰だとか又は職場見学会だとか、そういうようなものにつきましては この職業奉仕は部門の全員で協力して行っております。各小委員会は3名ないし4名ぐらいの委員で構成をいたしております が、1つの部門を一人が担当するというのじやなくて例えば 雇主従業員関係委員会の 委員でありますと同時に、実業及び専門職業委員会の委員でもございます。そういうふうなことで、お互いにその内容を良く知るといふことで、非常に綿密に然も実行されるような方法でやっております。その他に「四つのテスト」につきましては、ハーパートレーラさんの直筆の英文で書かれたものを持つておりまして、これを複写しまして会員全部にお配りしておりますが、非常に好評でございましたので学校や関係する職場 特に病院等

いろいろな所にお配りして四つのテストの普及 実践に努めているわけでございます。

細かいこと、特に又 ご質問になればその都度お答えできるかと思いますが、その程度でよろしゅうございませうか。おわります。

田中丸カウンセラー

これは世界の珍品ですね。世界中にあゝいうものはあまりありませんね。筆で書いていますよ、英語をね、なかなか立派なものを長崎クラブはお持ちで 本当に幸福に恵れているとお慶び申し上げます。

檜崎リーダー

これまでにカウンセラー何かお話しございませんでしょうか。

田中丸カウンセラー

いやもう非常によくいろいろ各クラブともやつておられますので結構でございます。

檜崎リーダー

じゃこの第1の 問をいちおう終らせていたゞきまして、第2の 問に入りたいと思います。

第2問 貴クラブでは「四つのテスト」をどのようにしてクラブ会員に周知せしめ、又利用されていますか。

檜崎リーダー

第1問と似た様な事柄でございますが、言行はこれに照らしてからはじまる「四つのテスト」に的をしぼつた次第でございます。これにつきまして長崎北クラブさんお願い致します。

長崎北クラブ 西君

毎月第1例会日に斉唱、会員にステッカーを配り職場に掲示して貰つております。これは全部古くから実施されておる事でございます皆で国歌をまず歌いまして、ロータリーソングの後、 委員長の音頭で全員合唱するのでございます。又会員の皆さんにはステッカーと言いますか ポスターと言いますかそれを入会時に差し上げまして、会員の最も適当と思われる場所でご活用願うという事でございます。以上でございます。

楢崎リーダー

ありがとうございました。この「四つのテスト」に対して何か特にお気づきになった所はございませんか。皆さん今日は自由討論会です皆さん全員に発言して貰えるのが一番望ましいと思いますので、どなたか発言していただけてませんか。雲仙クラブさん仲間として一つ時間つなぎに少し話して頂けませんか、雲仙クラブさんいらつしやいますか。

雲仙クラブ 本多君

皆さんがご期待なさるような、目新しい事は雲仙クラブではやっております。たゞ毎年受け継いでまいります「四つのテスト」についての本当の理解、これを深めるために地道に例会を通じて斉唱なりパストガバナーにお話しを求め勉強しております。たゞ私考えますに、いろいろロータリーについて深い意義をさぐるということ、又勉強するということは非常に時間もかかりますし、又私達のように知識の浅い者がなかなか真髄にふれるという事は難しいわけがあります。いつも考えますときに、この「四つのテスト」からくみとりました意味を自分の心にしっかりと持つておれば、目的がどうであろうと、一応やる事自体に意義があるんじゃないかと思えます。だから自分でどうかと迷った時には役員なり皆様に相談して、これをこうやりたいという事で一応何かやつてみて、その結果は皆さん方からご批判いただくというつもりでいつも実行しております。以上でございます。

楢崎リーダー

本多さんありがとうございました。では長崎クラブさん「四つのテスト」に対して、会員より自己採点アンケートを取るとありますが、

長崎クラブ 吉田君

この「四つのテスト」と言うものは非常に簡明で非常に深い言葉だと思えますが、それがどうか致しますと、内容を深くつきつめて本当に会員一人一人が自覚の上に立つて、自分の職業に対して本当の努力をしているか日常反省する訳でございます。ここにその文集は持つておりませんが従業員に対して、職業人として、経営者として、常に背後から見た場合例えば功なり名をとげた様な事業をやつても後世に次代の方にその職業の若干の手おちというものは無いかと「四つのテスト」に照らして自分で採点する項目を作りつゝある訳で

ございます。今ここに採点票を持ちませんので内容をご説明出来ないのが残念で  
ございます。

檜崎リーダー

ありがとうございました。では次の質問に入ります。

第3問 貴クラブ会員に職業奉仕の意義を理解させるためには、いかなる手段  
が有効であるとお考えですか。各クラブに具体例あればご報告下さい。長崎北  
クラブさんお願いします。

長崎北クラブ 西君

奉仕こそ我がつとめとか、日本で発行された職業奉仕事例集を読みますと、  
大変納得の行く事をやっておられます。又その結果事業がうまく行つた事まで  
書いてあります。奉仕をすればめぐりめぐつて自分に返つてくるんだなど、お  
そわつた訳でございます。さて知らない人たちの行為でも感動を致します。  
毎週顔を合わせる同僚が、AさんBさんのやられた事例を単文にまとめて、そ  
れを皆さんにお配りすると大変立派なものが出来あがるのではないか。日本人  
はそれが善行であるとかくしたがりです。ロータリーで一つ提出を義務づけと  
いう様な形で1人少なくとも1例をなかば強制的に出し合い、毎月1回位ノー  
トしてメンバーにお配りしたいと就任早々から計画は持ちましたが、なかなか  
皆さんにお願いする勇気が私にございませんで逡巡しております。以上でござ  
います。

田中丸カウンセラー

西さん勇気を出して下さい。それがロータリアンです。それから出席の意義  
はあなたの今のご計画を実行されることによつて、本当にロータリーに出席す  
る意義を見出しますね。今私もこんな素晴らしい案が出るとは、後でカウン  
セラーとして報告をする事になつておる様ですから、良い材料としてその時に  
報告申し上げます。案に終らず実行に移して頂くようお願い申し上げます。

檜崎リーダー

カウンセラーに聞いて頂きましたので早速実行に移され出来あがりましたら

今日の出席クラブに送つて頂くと、皆さん大変参考になると思います。

只今、新家ガバナーがお見えになりました。

新家ガバナー

「この席では優秀な田中丸パストガバナーがおられお話しする事もないが、職業奉仕はロータリーの奉仕の中ではその根幹を為すものであり、特に公式訪問の折、長崎、佐世保等の活発な活動の実態を直接に見て参りましたので、その方々の発表等参考にされ充分に対議されたい」と挨拶がありました。

檜崎リーダー

ガバナーどうもありがとうございました。今後ともご指導を賜りたいと思います。続いて3問のところをもう少しやらせて頂きます。諫早北クラブさんお願いします。

諫早北クラブ 仁科君

私が職業奉仕の委員長ですが、自分の職業を通じて奉仕するという事はよく理解出来るとしましても、これを委員会の中でどう活動するか非常に困った訳でございますが、皆さんにそれぞれの職業を通じて奉仕とはについて例会で発表して頂けば、それだけ真剣に考えられる機会も増えるのではなからうか、又週報に書いて頂ければそれを読む人達にとつても大きなプラスではなからうかと考えまして具体的に、プログラム委員会にお願いし1ヶ月に1回時間を貰い、又週報にも1ヶ月1回職業奉仕の欄を設けて、テーマとしましては自分の職業の紹介、社是など或はご自分の責務、従業員の教育方針や「四つのテスト」の事例等、5つのテーマをかゝけて各メンバーの方をお願いをしております。然し只今会員の半数程しか消化出来ずしております。週報等をフルに生かして何とか年度中に責任を果たしたいと考えております以上です。

檜崎リーダー

どうもありがとうございます。本当に参考になります。以上時間も立ちましたのでここで10分間位休憩をしたいと思います。

(10分間休けい)

再開いたします。

第4問 雇主従業員関係に関する行事を実施されたクラブがあれば、その具体例を2, 3あげてください。大村クラブさんお願い致します。

大村クラブ 林田君

ケーススタディで行っているという事でございますが、実は持つて来ておつたつもりですがメモを忘れましたので、大体「四つのテスト」に照らしたようなものの用紙がございまして、それを年に2回程実施致しております。

楢崎リーダー

はい、結構です。次に佐世保西クラブさんお願い致します。

佐世保西クラブ 松永君

実は5月8日に実施予定があります。玉屋デパート別館で大体40名から50名位が限度なんですけど、その時各事業所から従業員を1名ずつ来ていたゞいて中食会を致します。従業員の表彰とか、又吉村重役さんにロータリーについていろいろなお話しを30分程して頂く予定にしております。他にもございますが、むつ見学や海上自衛隊の事等、色々スケジュールが沢山ございまして一寸延んだ訳でございます。

楢崎リーダー

時間もございませぬので、一番中心になります第5問に移りますが、第5問「奉仕こそわがつとめ」という本は、お読みになつたと思ひますが、その読後感を簡単に述べて下さい。長崎北東クラブさんをお願い致します。

長崎北東クラブ 辻原君

難解な文で全員未だ読んでおりませぬと回答致しましたが、全員でなく全文の誤りのようです。職業奉仕の委員長に今期なりましたがこの本を最初貰つた時から是非読まなければと考へ読む事に努力したんですが、非常に原文の英語を直訳した言葉でございまして日本語流に意味を完全に理解することがむづかしく感じた訳です。くり返し努力を致しております。

楢崎リーダー

佐世保南さんお願い致します。

佐世保南クラブ 川原君

代理出席でございまして、一度は日本文を読んだことがありますものの、大分昔の事で記憶がはつきりしませんが、原文で読んだ方が一番よく解るんじや

ないかと思ひますものゝ、なかなかそれもゆきませんで、風俗習慣も日本とかなり違います。日本人に向くように書きかえると言ひますか、その様にしたらと思ひ訳でござひます。

佐世保クラブの松尾です。佐世保クラブでは、そういう事を考えまして利用している事がござひます。ここにお持ちしてあります270地区のこれは八幡西クラブの職業奉仕委員会から発行されたものです。私のクラブでは一冊全部各会員に年度はじめに渡してあります。良かつたらお読みになつたら本当にわかりやすい本です。それから今カウンセラーがおつしやいましたけど田中丸さんをはじめ、ガバナーが2人出ておられます。外にも熱心な方が親和銀行から"サービスマイビジネス"という本を発行して居られますので、それも全員に配つてあります。外に佐世保クラブでは「四つのテスト」の他四つの反省というものを配つてあります。岐阜南クラブが草案されたものでござひまして非常にいい文でござひます。それからもう1つござひますけど、私のクラブではローターアクトと一緒に職業奉仕にとりくんであります。実行するのは若いローターアクトのみなさんでござひます。又従業員との関係もそういうところで非常に密接な関係がござひますし本当にリアルな問題は、そのローターアクトの皆さんと話し合ふ事が一番解決しやすいのではなかつたらとローターアクトの例会に職業奉仕委員会は勿論他会員も、ほとんど出席する様にと割当制のようになつてござひます。以上様な事をなしてあります。参考になればと思ひまして

檜崎リーダー

ありがとうございます。ロータリーの四つの奉仕部門の中で、職業奉仕が最も解り難くロータリーのロータリー会員たる最も誇り得る奉仕部門でありながら説明しにくいところを持つて思ひます。然し田中丸バスターガバナーも申されたとおりに、ロータリーの会員である事は、ロータリーの職業分類に記載されている業種を代表し得るにたるとして、入会され承認されている者でありまして、1業種1人というロータリーの原則からすれば、職業との結びつきのある事によつて、会員たる資格が生ずる事は皆様先刻ご承知の通りであります。そうしたロータリーアン各自がその職業を通じて奉仕する為にその職業を品位あらしめ、且つ道徳的水準を高め、各自各人の行動でお互いにたつき

の道を全うし乍ら、その職業を通じて社会に奉仕する事が最大且つ特異な目的でもあるわけです。

殊に昨今の様に低成長化の経済界のもとで、然も誰もが自分の事業にその今後の成長に不確実性を認めねばならぬ状況のもとで自らの職業を確実に安定せしめ、且つ純粹に職業奉仕の理念のもとにその行動に自己反省を加え自ら進んで参ります事は、並たいていの事ではありません。最高限度の英知をしぼり創意工夫すべきでありまして、皆様この会議を通じ良く理解を深められた事を各クラブに持つて帰られ、又地方の特色を加えられまして一層努力されん事をお願いします。願わくばロータリーの会員であるという事により、その職業の実践にどんな変化で道徳的水準を高めているかを確認すべきでありましょう。

## 青少年奉仕部会

カウンセラー 本郷 芳郎 (大村北)  
リーダー 脇山 慶一 (長崎北)

各クラブに対し6項目のアンケートを送付し、その回答を資料として配布する。

(脇山リーダー)

本日のリーダーを勤めますが、I.G.F.は皆様の情報交換の場であります。青少年奉仕活動をどうもつて行くか、又、犯罪が低年齢層にも及び社会問題となつていきますので、このような点に重点を置いて進めて行きます。末永パストガバナーが言われました「青少年問題は難しい。基本に立返つて考えること、フランスのアランの言つたことですが、『子供にクルミを割つて与えるな。子供は割つて食べる方法を自分で見出し、体験して得たクルミのおいしさは、中味だけを与えられて得たおいしさとは異なり、喜びを加えたおいしさを味わうことができるだろう。』私たちが果して実行しているだろうか。私たちがインターアクト、ローターアクトの中に混じつて、一緒になつてクルミを割らせてみる。その心がけが大切ではなかろうかと思ひます。」と言われたことを思い出します。このような考えで、きよう一日勤めさせて頂きたいと思ひます。



(本郷カウンセラー 第10分区代理)

私はロータリー歴が18年です。メイキャップなしで皆勤していますが、自クラブで青少年奉仕担当は1回もやつていません。ことしは、国連が「国際児童年」として取上げ、又、新家ガバナーも青少年問題を極めて重視しています。私は未経験ですが、出席者全員が意見を出されることが勉強となり、I.G.F.の目的であると思います。脇山リーダーを中心に、私も共に勉強し、フォーラムを進められますようお願いいたします。

(脇山リーダー)

アンケートに対し、返信ありがとうございました。今までI.G.F.において青少年奉仕部会はローターアクト、インターアクトが中心でしたが、ことしは、青少年健全育成を主体に討論して参りたいと思います。

アンケート1. 青少年奉仕委員会の奉仕に対する今後の方向づけについて

(佐世保RC 小嶺君)

西彼琴海町の飯盛山に練成場を造つて頂いていますが、日本の三指に入る立派な規模で、昨年10月に完成しました。これは佐世保RCの坂田君(親和銀行頭取)の美挙であります。この練成場について-----

(長崎北RC 西(源)君)

日本ボーイスカウト長崎県連盟の西です。ボーイスカウトは、福岡クラブの麻生さんが熱心で、私共も洗脳されました。青少年の健全育成については最高のものと思います。ご発言の練成場(長崎県連野営場)では、8月に長崎県ボーイスカウト大会が2,000名参加して挙行されます。ボーイスカウトに対しては、前述の坂田君が非常に熱心です。ことしは国際児童年でもありますので、私共の長崎北RCの活動を見て頂きたいと思います。長崎北東RCの道向君も、団を結成されるほど熱心な方です。

各クラブ共全国的な指導者がおられます。そのような指導者は、世界ジャンボリー-日本ジャンボリーが富士の裾野で行われるときは、5~7日の時間を割いて奉仕して頂いております。

ボーイスカウトの数は、

福岡県	6,900名	宮崎県	1,439名
佐賀県	904名	鹿児島県	776名

熊本県	1,669名	沖縄県	1,657名
大分県	1,394名	長崎県	2,355名

で、人口割では長崎県は極めて高率となつています。きょうを機に、皆様も各地でご協力願います。

(協山リーダー)

ボーイスカウト活動を見直して行きたいと思います。佐世保RC提出の「青少年奉仕委員会のクラブ内における位置づけ」についてご説明願います。

(佐世保RC 小嶺君)

青少年活動委員会はインターアクト、ローターアクトを含んだものが多く、両方に地区委員会があつて重複するのではないかと思います。青少年奉仕部門は特に予算を持たず、活動に困難がありました。

(協山リーダー)

各ロータリークラブで方針を決め、活動されてよいと思います。今後、社会奉仕から青少年奉仕を独立させることが考えられます。北松浦RC提出の「毎年定期的に奉仕することが必要ではないか」についてご説明下さい。

(北松浦RC 馬場君)

成人式や町村のスポーツ活動に道具類を寄贈して協力して来ましたが、来期は青少年奉仕部会を独立させてやつて行きたいと思います。

アンケート2. 青少年の健全育成について

(協山リーダー)

どなたかご意見を-----

(長崎北RC 西(源)君)

さきほど申し落しましたが、ボーイスカウト長崎県連盟は2名の専従者がおります。お問合せは次にご連絡下さい。

長崎市栄町5番2号 親和銀行別館3階

電話 0958-27-1656

(協山リーダー)

各アンケートをご覧になつてご参考にして、クラブの将来の方向づけに役立てて下さい。長崎北RCでは青少年俳句大会を行つておりますが、情操教育上好評で、毎年応募者が増加しております。

(大村北RC 富永君)

さきほどボーイスカウトについて種々お話がありました。会費が父兄負担だけでは不十分ですから企業等に寄付を仰いでいます。指導者を求めることに苦慮していますので、育成などについてお尋ねします。

(長崎北RC 西(源)君)

前述の練成場に指導者育成の設備も完備しています。大村出身の鈴木さんに連絡してお伺い下さい。教育は講習会、研修所があつて、これを修了すると父兄の方でも指導者になれます。

アンケート3. 青少年野外活動について

(協山リーダー)

雲仙RCの「ひまわりクラブキャンプ」についてご説明願います。

(雲仙RC 宮崎君)

県庁職員の子弟と雲仙の子弟で小学3年～中学3年の学生50名を集め、3泊4日のキャンプを行いました。体力増強、キャンプ、登山などを行い、長崎の子供は、自然の中で生活したことを非常に喜んでくれました。朝6時から夜10時まで共に行動しました。キャンプは、どうしても夏休みでなければ実行困難です。成功したのは、約6名の指導の先生が参加して頂いたからです。

(協山リーダー)

「レクリエーション協会」があつて、指導者がおられますのでご相談下さい。学校に相談すると、夏休みに入つてすぐが良いと言われます。又、場所を申込みのに最低半年位要しますので、非常に実行し難いと思います。前年度の委員長のとくに計画しておかねば、実現が間に合いません。長崎RCの方どうぞ。

(長崎RC 花畑君)

大村野岳のキャンプ地を利用して、約60名で一泊のキャンプをやりました。台風の時期でしたが、翌朝、野岳から月光の里を見て昼食後帰りました。参加者のレポートによると調理、テント張り等、自分たちで行動することが大変楽しく、有益であつたと書かれていました。

(新家ガバナー)

青少年奉仕部会は、国際ロータリー(R.I.)の中でも段々ウエイトが高くなつて来て、社会奉仕の中から独立させ、特に本年度は私がガバナーとして青少年問題を重点目標としました。一方、国連も「児童年」として、青少年問題を重視することとなりました。4月の地区大会では、R.I. 会長代理に秋田県の辻パストガバナーを迎えますが、R.I.の青少年奉仕の委員をしておられます。又、特別講演者に宮城まり子さんをお願いしていますが、期せずして青少

年問題に一本筋が通っている感じです。現在は我々の子供時代とは変つて来ていますし、日本の将来のためにも大問題でありますので、ロータリーとしても全力投球してほしいものです。きようは、平素考えておられることを充分話し合われて、クラブとしての方向を決めて頂きたいと思います。R.I. 75周年記念行事も、低開発国の子供たちの問題を取上げて行きますので、新年度はこの問題が中心となると思います。6月の地区協議会には青少年部会が出席指名されていませんが、私はぜひ青少年部会を入れたいと考えています。

( 脇山リーダー )

長崎県には、南高千々石町のキャンプ場等の施設が追々整つて来ています。特に、諫早の「国立諫早少年自然の家」では食費以外は不要で、1人当り1日約1,000円以内で上がると思います。宿泊設備や遊ぶ場所は立派なものです。去年は50名で実施致しました。

アンケート 4. 青少年の犯罪防止について

( 脇山リーダー )

低学年の子供の自殺も出て来ていますが、非行少年が増えて来ています。(長崎県では昨年2,904名)家庭教育も大事ですが、なかなか難しい問題です。島原RC如何ですか。

( 島原RC 古瀬君 )

子供の求めにおとな、ロータリーは応えるべきと思いますが、具体的には難しいと考えております。

( 脇山リーダー )

「長崎県少年保護育成条例」施行による成果は、

1. 県民意識が高揚した。学校、家庭、社会の三者の連携が益々強化されつつある。
2. 有害図書類が店頭から半減した。
3. 自動販売機(避妊用品)は全部作動停止となり、徐々に撤去されつつある。
4. 自動販売機(図書類)は92台あつたが、施行後は29台となつた。
5. 成人映画の看板は、ほとんど撤去された。
6. 条例に違反する淫らな性行為が数件発生し、警察に検挙された。

7. 各市町村で、住民運動により「モーター類似施設の建設に関する規制」の条例が制定された。

8. 特に各種業者の理解と協力が得られつつある。

(長崎南RC 山田君)

市内5RCの委員長と相談の結果、昨年11月13日に各関係官庁と懇談会を開き、防止の手段を考えました。次は5月に第2回目を開きたいと思います。

(協山リーダー)

出席者は、長崎市内5RC青少年委員会のメンバー、中央児童相談所、長崎青少年鑑別所、長崎県青少年課、長崎市高等学校生活指導連絡協議会、長崎県少年補導員連絡協議会、長崎市少年センター、長崎市PTA連合会、長崎保護監察所、長崎婦人少年室、長崎市少年補導員協議会、長崎県警察本部防犯少年課、長崎署婦人補導員の方々です。以上の機関は横の連絡がなかつたのですが、5RCの呼びかけで、良い方向づけができたと思いますし、将来は、ローターが中心になつて行きたいと思います。

(諫早RC 吉田君)

ひとこと発言致します。昨24日教育テレビを見て、「教師は教育の現場から逃げていないか」の放送中に、考えるべき多くの問題があつたと思いました。その中で子供の犯罪、自殺の原因について、子供が友達を持たない15%（授業の休み時間にも机から離れない）、困つたとき半数が友達に相談し、先生や母親に相談するのが5%位で、父親に相談するのは0%、残りは誰にも相談していない。私共父親として考えるべきことと思います。

アンケート5、インターアクト、ローターアクトについて

(協山リーダー)

現在第270地区のローターアクトクラブは25クラブ、525名です。インターアクトクラブは32クラブ、730名です。

(佐世保RC 小嶺君)

質問します。ローターアクトの予算については、会員数によるか、まとめてやるか？

(協山リーダー)

長崎北RCでは、年度始めにクラブの予算に約68万円を組んでおります。

(佐世保東RC 樋口君)

ローターアクト会員増強の資料についてお教え下さい。

(北松浦RC 光武君)

6ヶ町に広がりまとまりがつきません。

(脇山リーダー)

ロータリアンが自分の会社から出すなど、熱心にアクト会員の増強に努めるのがよいと思います。

(福江中央RC 平山君)

公立高校でインターアクトを作るための要領を教えてください。

(諫早RC 江口君)

地区委員の金子君に来て頂き、いろいろ指導を受けました。我がクラブのインターアクトは諫早農業高校で、寮生を特に対象にしています。学校側を説得することが大事で、校長を説き、寮生を対象にしたので、スムーズに作る事ができたと思います。

(大村北RC 富永君)

県立大村工業のインターアクトを有しております。大村RCより引継ぎましたので、県下でも古いほうです。学校の先生の協力が十分得られず細々となつていましたが、昨今増員して来ました。育成が大変難しいものです。今度交換学生を出しますので、又増員できると思います。

(本郷カウンセラー)

アンケートを配布されたので、これを十分読めば各クラブの実情がよくわかります。いろいろと意見を承つていましたが、各クラブ共環境に応じた活動がされておりますので、大変嬉しゅうございます。

アンケート6. 青少年奉仕委員会として各種団体に助成しておられる件

各種団体に助成の参考

ボーイスカウト 長崎5RC 5万円

大村北RC 2万円

(会員有志が毎年1万円)

島原RC 3万円

福江RC 3万円

ガールスカウト 長崎5RC 3万円

大村北RC 2万円

佐世保海洋少年団 佐世保RC 全会員が1,000円ずつ拠出している。

(54.3.26 長崎新聞記事より)

— 効果ある活動を —

「県内ロータリークラブ長崎で勉強会開く，青少年奉仕部会では 青少年の健全育成と不良化防止，野外活動について，各クラブから集計したアンケートをもとに話し合いが行われた。最近の青少年問題の複雑さを反映して，取組みの難しさを指摘する声が多く出され，基本的には 青少年と共に参加するなかで理解と認識を深め，ロータリークラブの活動ばかりでなく 関係団体とも提携して効果ある活動をすべきだ」という指摘があつた。

## 新会員部会

カウンセラー 渡辺喜海 (佐世保南)  
リーダー 山田 遼 (長崎南)

(リーダー)

先般皆さんにお願いしたアンケートの集計をお手許に差上げておりますが、その中のポイントを要約しますと、出席に関するもの、奉仕に関するものが皆さんの疑問点としてクローズアップしてきております。いろんな疑問が出てきましたその一つ一つにイエス、ノーを言うのは極めて簡単ですが、数学の問題と一緒に $X = a$ という答をダイレクトに出しましても、さっぱり解りません。aが導かれてきた途中の計算方法、算式というものを示さねば答は理解できません。同じようにロータリーに関する疑問もイエス、ノーのように単純な答は出ないだろうと思います。それにはいろんな方法があるのですが、ロータリーの歴史をふり返えてみて、その中から皆さんがそれぞれの答を出して頂くのが一番良いのではないかということで、ロータリーの歴史しかも初期の歴史をとりあげてみたいと思います。

ロータリーの創立は、1905年で1922年のロス大会で標準定款が採択され、1923年のセントルイス大会で「決議34号」が出されています。この辺までがロータリーの初期の歴史とみてよろしいと思います。この18年間に当初の原始形態から非常な多様な考え方が生まれて来て、次々にお互いの思想の対立抗争、考え方の相違が出てきました。それをお互いの勉強の中から止



揚昇華しながら今日のロータリーへのほりつめていつたわけではありますが、その間幾多の試行錯誤を経て、次第に基盤ができてきました。そこでロータリーを創つた人、ポールハリスの人となり勉強してみますと、生い立ちはアメリカ東北にあるバーモント州のウォーリングフィールドの土着の家系であります。父ジョージはおじいさんの手助けでウイコンシン州のラシーンで雑貨屋を開いていましたが、発明狂で文士かぶれであり商売を疎かにしたため倒産し一家は離散しました。当時ポールハリスは3才でありました。こゝからポールの孤独で苦難にみちた少年時代が始まります。

少年時代のポールに影響を与えた人が3人おります。その一人はおばさんのパメラで人間と人間との関係は、まず心が大切であり、心の結びつきがあれば人間は幸せであるということをもつて教えました。またおばさんの夫で田舎医者ジョージフォックスは患者に商売ぬきで奉仕するという人で、その姿は少年のポールにとって非常に美しく尊いものに映りました。これが後年、彼が奉仕を考えてゆく一つの基盤となつたのであります。もう一人ユダヤ人の園芸家がありました。彼は理想家で人間だとか世界だとかについて理想的な物語を展開してくれました。

1891年にアイオワ州立大学を出て弁護士の資格を得たポールは「5年間の愚行」という時代を送ります。アメリカ各州はもとよりイギリス、ハバナ、スコットランド、ベルギー、スイス、ドイツなど各地を廻り行く先々では新聞通信員、労働者、大学講師、俳優、カウボーイ、ホテルの夜勤、港湾荷役、農場労働者などをやり1896年シカゴに定住します。この時すでに36才。これからいよいよロータリーの創設の話に入るのであります。当時の社会的背景を考えるとアメリカ資本主義は爛熟期に達しており、自由競争の原理、別の言葉でいうと弱肉強食の世界であつた。そこではどうしてもお互いに信用できず、各人が孤独でありました。そこから疑心暗鬼になるというので何とか心と心の通うような人間関係はできないものかと考えたのであります。

1900年、シカゴ郊外で同業者の夕食に招かれ食後の散歩道で友人が知り合いの商人と会い、非常に親しく話すのを見て、その時ポールはこれだと思ひました。後年、彼は「ロータリーとわが生涯」という本の中で「多くの異つた職業から、たつた一人だけをもつて組織し政治や宗教の制約なしに、互いに寛容

の精神をもつて集う親睦があり得ない筈はないという考えが私の頭に浮かんだ」と書いております。これが「同業者排除の原則」つまり一職種一会員制となつたのであります。そして「運命の日」1905年2月23日にロータリークラブが生まれたわけであります。その時、ポールハリスはシルベスターシール（石炭商）、ハイラムシヨリー（洋服屋）、ガスターヴァスローア（鉱山技師）と一業一会員の原則に則つた社交クラブをつくる話をしております。才2回には会員の相互理解を深めるために例会場を各職場で廻ることを決めております。才3回目には役員選出をやり、シルベスターシールが会長となりました。この時に会名をつけようということで、いろいろ名前が出て何となくロータリークラブということになりました。マークも才3回の時に馬車の販売広告を見てつくられたが、1910年全米ロータリークラブ連合会で統一マークをつくるため募集し、それが改められて1923年に今日のマークとなつたのであります。

次に例会出席は何故やらねばならぬかということについて、お話しします。ロータリーは病気欠席や公的義務の履行による欠席も認めない、更に服喪期間も認めないなどと厳しく規定されているのは何故なのか、この法的根拠は1905年の才3回で決められています。これが現在のクラブ定款才8条才5節の「連続4回、例会を欠席したもの又は6カ月単位で平均60%に足りないものは、自動的に会員の資格を喪失する」と規定されている。その理論的根拠は3つで、

① 例会場は親睦の場であるということ。

知り合いはどうして得られるか、黙つて家にいるのではなく、出て行つて合う、而も屢々会う、そこから親睦が生まれ、お互いに助け合うところから奉仕の心が生まれるのであります。

② 例会場は自己修練の場であるということ。

ある地域の中から指導的ロータリアンを各職場から一名づつ選びロータリアンが例会場でアイデア、経験、知識をお互いに交換しながら相互に切磋琢磨して、自からを高めてゆく、そこで得られた境地を一般社会に提供しながら広い意味での奉仕をする、その中心の場としてのクラブ例会があると考えられています。つまり自己修練の場なのであります。別の言葉でいうと例会場は「芋洗いの場」であります。会員は自分自身を磨くために例会に出席するのであり、

米山梅吉氏の言葉に「ロータリーの例会は、人生の道場である」というのがあり、またレークプラシットクラブの入口に「入りて学べ、出でて奉仕せよ」という標語が掲げているのもこの事を言っているのであります。

③ 例会場はアイデア交換の場であるということ。

その前に一業種一人制とは何ぞやという問題を突っ込んで考えてみますと、当初はお互いの親睦のためということでスタートしたロータリーは、漸次奉仕クラブという内容に変ってきています。そこでシアトルRCで「ロータリークラブが奉仕団体なら奉仕の効果をあげるために、一業種一人制に拘束されることなく沢山の奉仕家を入会させた方がよい」という疑問が出されました。これに対し1913年、バーミンガムRCは「各業種から一名の代表を選任して、例会で教育し、ロータリーの精神をそれぞれの業種に伝えさせるためにロータリアンを送りこんでいるのである」という回答が出され、これが一業種一人制の理論的根拠とされているのであります。

ガイガンテイガー（1923年会長）は、「ロータリー通解」（1915年）の中で、このことを「ロータリーがその同業者に派遣した大使」（大使派遣説）と言っております。こうして例会場は各会員の商品を相互に交換する市場といふことができます。商品とは自分の職種から得たアイデア、つまり経験、知識である。自分が欠席すれば、他の会員に対し自分の職種の考え方、アイデアを与えることができません。同時に自分自身や他の職種のアイデアを吸収できないのみならず、自分の同業者にもそれを伝えることができません。これは地域社会にとつて甚大なるマイナスであります。むつかしく言うと全職種の倫理基準の向上を妨害したということになり、ロータリーはここを拠りどころとして例会出席をやかましく言うのであります。出席義務は、ロータリーの本質の問題であり出席競争（出席率）は、その方便の問題であることをご理解願いたいのであります。

（ガバナー）

只今リーダーから明快なご説明があつておりますが、ロータリーに新しく入った時には、仲々なじみにくくて、むつかしいという感じがしますが、先輩のロータリアンの方から、いろいろ教えて貰い又自分でロータリーそのものに頭を突っこんで自分なりのロータリーをつくるという心構えが必要であります。

何十年やつても解らない、それだけにやつてやり甲斐のあることであります。たしかに例会は自己鍛錬の場所であり、必ず成果はあがる筈であり、これは人間として死ぬまで完成することはありません。国際ロータリーも75年もの間、一路発展の方向を辿り、遂に83万人になつたということ、世界150カ国を統制している力はどこにあるかということも考えねばなりません。日本の任意団体の中でロータリークラブほど国際性をもつた団体はないと思います。国際交換学生のお世話をしてありますが、必ず将来国のためになるものと信じています。先輩に指導を仰ぎ大いに意欲をもつて、前向きの姿勢で訓練をやつて欲しいと思います。今日のIGFを将来のために有効な時間にして頂きたいと思います。

(カウンセラー)

例会は出席そのものに価値があるので、100%というのは、成るべく会員の皆さんに出席をして貰いたいということで、出席するということは、ロータリーを一番手つ取り早く会得する早道であると思います。

毎週例会で一時間を有意義に本を読むよりも話を聴くだけで会得できることが多いのであります。

(リーダー)

次にロータリーの奉仕とは何かということですが、既に清島バスターの基調講演の中に詳しく述べられておりますので簡単に申しあげます。

1906年にできましたシカゴRCの定款の特徴は互惠主義であります。つまり会員間の原価による商取引を義務づけたのであります。これが弁理士のドナルドカーターによつて鋭く批判され、当時会長であつたポールハリスは定款の才3条に「シカゴ市の利益を推進し、その市民の中にシカゴ市に対する誇りと忠誠の精神を普及すること」という条文を追加し、ここにロータリーは漠然とした社会的目的を自覚し、これが奉仕概念の芽生えとなるのであります。当時シカゴ市には既に資本主義の悪弊がたゞよい、自由主義且つ個人主義の考えから、社会福祉を中心とする考えが出はじめており、これと相俟つてロータリークラブ内に奉仕の精神が台頭して参ります。

1908年、アーサーフレデリックシエルドンが入会し、彼がミシガン大学で学んだミシガン学派の販売理論「自由競争下において長期安定的利潤を獲得

するためには、取引の両当事者間に信用が必要である」という考え方をロータリーの奉仕の中に導入し「奉仕に徹する者に最大の利益あり」という標語に代表されるロータリーの奉仕哲学を確立するのであります。

この実業倫理主義に対し、フランクBコリンズは1911年に「奉仕だ、自己ではない」と(宗教主義)を唱えましたが、後年、シエルドンの提案により「自分よりも先づ奉仕」と改正されております。

この宗教主義の考え方から1915年に「ロータリーの倫理訓」が決議され、1954年「四つのテスト」に توسطして替わるまで、ロータリーの精神的支柱となつております。今日においてもロータリーには、この宗教主義と実業倫理主義は併存しており、どちらの側からでもロータリーの本質に迫ることができると思われます。

最後に「社会奉仕に関する決議案34号」についてお話しします。

これは一時は分裂の危機まで招いたロータリーにおける金銭的奉仕は是か非かという論争に終止符を打つたテネシー州ナッシュビルRCの解決案であります。その内容は

- ① ロータリーの奉仕は個人奉仕が原則
- ② 社会奉仕はロータリーの教育に役立つこと
- ③ 団体的奉仕の条件

ア 問題点の事前調査

イ クラブ財源を圧迫しない

ウ 直接救済を避け、専門機関を援助

エ 専門機関でなく財源圧迫とならない場合のみ団体的金銭的奉仕をしてもよい。

米山梅吉氏の言葉でもつて最後の締めくくりとします。

「ロータリーは奉仕クラブではない、しかしロータリークラブは奉仕の実践活動を行うべき個々のロータリアンを育てる団体である」

(副リーダー)

アンケートを中心に現実的な問題としてご意見なり考え方なりをご発表頂きたい。アンケートは各クラブの幹事、二年未満の会員の方にそれぞれ無記名で回答を頂き集計したものであります。

幹事さんには、各クラブの特徴のある新しい会員に対する理解と、新会員のなじみ方に対する貴重なるご意見が発表されておりますが要約しますと、例会出席もしくはその他の奉仕の機会に出席して頂きたいというのが、新入会員に対する要望の大部分のようであります。新入会員の方のアンケートは186通出して130通を回収(うち不明3通)、その中で気になりますのは、

「ロータリークラブに入会してどう思いましたか」の問に対して「何ともいえない」と回答している方が60%、「例会に出席してどうお感じですか」の問に対して、「まだ余り楽しいと思わぬ」というのが1～2年未満の方に約20%もあることです。

「新会員のロータリー理解のため、どのようなことをしておられますか」について何か意見や補足がありますか。

(佐世保RC 武井洋一君)

幹事用アンケート①の追加ですが、  
「毎月第2水曜日の例会日の朝、朝食会を行っております。8時から9時までの1時間、セントラルホテルで吉富勝次パスト会長がリーダーとなり、情報交換をしています」

「昨年7月から実施しており充分実効をあげてはおりませんが、希望はあると思います」

(カウンセラー)

出席者についてですが、「1年、6ヶ月未満の方々には可成りロータリーは堅苦しいと思われているようですが、例会を楽しくすることを工夫して貰いたいと思います。ロータリーではアメリカの言葉を直訳したものが多く何となく堅苦しいと思われていますが、例えばサービスとは何かという問題でも、相手の心、相手のことを考えて不愉快な面にあわせないようにするという事で考えねばなりません。

「四つのテスト」が唱和されておりますがあれだけでは何のことか解りません。これはハーバートテラーが昭和7年頃アルミ会社が倒産しかゝつたとき、どうすれば救うことが出来るかということで、短い言葉で憶え易い言葉を従業員のために作つたといわれております。正しいかどうかを自ら反省して、一人一人が行動を起こす前に、テストを鏡として自己人格の形成ということが得意先の信用を得、立ち直ることが出来たということです。それらがロータリアンのやることでもあるということで、テラーから版權を買つてロータリーの所有となつたものであります。

(長崎南RC小浜正美君)

突然のご指名でとまどつておりますが、私、今日は一年生のつもりで山田リーダー、松藤副リーダー、カウンセラーの渡辺先生のお話を伺い大変勉強になり有難うございました。

ロータリーを堅苦しく考えるなというご意見やまた最近は少し堅苦しく考えるというような批判も出ているようですが、私は柔軟性をもつて、ある時は堅苦しくならないように、ある時は初めから終りまでナアナア主義で終つて欲しくない。時には少し堅苦しくなつても“和して流れず”“親しき中にも礼儀あり”と申しますが、親睦の中にも真摯なロータリーに対する検討がなされなければならないと思います。日本における戦前、戦後のロータリアンを比較します時に、戦前は親睦を主体とし、戦後は定款、細則の研究に余りにもこだわりすぎて、少し堅苦しくなつてきたというような批判もあるようでございます。それから新会員に対しての私、只今幹事を仰せつかつている立場上の反省と希望を申しあげますと先程、佐世保クラブの幹事の武井先生が朝食会をやつておられるとかの貴重なお話を伺いましたが、例会時間だけでは親睦と意見の交換の場としては、時間が足りないように思われます。同様にクラブアツセンブリーとかクラブフォーラムなんかでも30分で問題を検討しようとする時、尻切れトンボで結論が出ずじまいのこともあるようでございますので、矢張り別の討論の場と申しますか、場の提供を心がけなければならないと思います。

そういう意味でもう少し炉辺会合なりその他の会合など場の提供を増やすよう検討して頂きたい。これはロータリー情報委員長さんとか理事さんが活動方針の計画時にその問題を反省しなければならぬと思います。

これは希望でございまして、新会員の方はどなたもご多忙かと思いますが、与え

られた委員の仕事を多忙とか何とかの理由で逃げられる方、何とかもう少し楽な暇な委員会に廻して欲しいと仰言るような方に時々出くわしますが、私はもう少し積極的に委員会の仕事に取り組んで頂いて、“頼まれたらノーというなよロータリアン”と言われておりますように積極的にロータリーの奉仕活動に首を突っこんで頂いて、自分なりのロータリー観というものを早く持つて頂き、決してスリーピングメンバーになつて頂きたくないと思います。そして胸襟を開いて同志の連帯感と申しますか、クラブに早くなじんで頂きたいと思います。

(佐世保RC武井洋一君)

アンケートの追加ですが

第2項 「新入会員を一日も早くロータリークラブになじませるため、どのようなことをしておられますか」には、入会の時に同時に2人以上の会員を同窓生にもたせると心強いので2人以上を調整して入会して頂いています。

第3項 「今後新入会員のためどのようなことをしたいと考えていますか」には「間もなく会員が100名を越す状態となります。いろいろな方がおられますので、船を運行するには船長や理事のためにチャートが要ります。それに又進路を指示する文献が要ります。親和銀行のご好意で文献倉庫に約220部ほどあり他にはフィルムなどもあり、これを時期的に見学や利用促進をしてゆきたいと思います。

第4項 「新入会員に対し特に要望したいことは何ですか」は入会時の紹介者並びにロータリー情報委員から候補者に説明の中で「ロータリーは社会的モラルのトレーニング場であると思つて下さい」ということを話して下さいと言っています。

(副リーダー)

佐世保RCは大きな世帯で沢山の先輩の方々是新入会員のためご苦労も多いかと思いますが、今後共新入会員をなじませる機会を沢山つくつて頂きたいと思います。私もいろいろロータリーの奉仕活動などをやらして貰つて感ずることは、若し自分がロータリーに入つていなければ、こういう機会も友達もいなかったのではないかということをつくづく思います。

(カウンセラー)

フォーラムという言葉は、古くイタリーのローマ辺りで、市民の集会をする建物を言つたようであります、そこで自由に発言を生み出すのだということです。新入会員で今日出席された人々には可なり知識を得られたと思いますが、フォーラムが教育の道場として大事な役目を果たしております。いろいろと聞きたいことありましようが大体アンケートにより報告書が出るとお思いますので、特に新会員の方には報告書を通じて、もう一度勉強して頂き度いと思ひます。

(リーダー)

拙たないリーダーで申し訳ありません。時間ありませんので充分勉強もできなかつたのは残念であります、一つでも二つでも今後ロータリー生活にプラスになれば幸いであります。尚帰られましてから不明の点は、先輩にご質問下さいまして一日も早くロータリーの真理をご理解願ひ、今後のロータリー活動にご協力下さるようお願い申しあげたいと思ひます。

## 部門別協議会所感

### 1. クラブ奉仕部門

カウンセラー

直前ガバナー 七條達夫（雲仙）

浜田リーダーは、クラブ奉仕が今後当面する問題についてアンケートをお取りになり、大へん長期にわたり資料の収集を計られ、本日は、百数十名の会員のご参集を得、各クラブから代表者のご報告を賜つたのであります。クラブ奉仕の約11の委員会のうち、今年度又は将来どの委員会を最も強力に行つてゆくかとのアンケートの集計は、出席と親睦を重点というクラブが多数をしめたのであります。大へん結構なこと、と思うのでございます。ロータリーもクラブ奉仕も親睦によつて始まり、親睦は例会出席によつて達成されるものと思うのでございます。次にロータリー情報をいかにして徹底してゆくかということでございます。会員にロータリーの知識を普及し、奉仕活動の前進をするために、ロータリー情報の徹底を皆様大いにやつておられるので、ロータリー情報委員会の直接的、間接的の仕事はよくご承知と思ひますが、最も注意しなければならないのは、新会員に対する情報徹底かと思うのであります。各委員会におかれましては一日も早く新会員がロータリーにとけこむようご努力をお願いいたします。ロータリーの司会は、幹事、SAA、会長などにより行われますが、例会の司会は会長がやるべきものと思ひます。一昨年、ボカラートンの地区国際協議会では、マンチエスター会長は、7日間の会議を一人で司会されたのを拝見いたしました。今年の723地区の年次大会では、吉村ガバナーが、司会をされました。定款にもうたつてありますが、例会の司会は出来れば会長自身でやつていたゞきたいと思ひます。親睦活動の予算の問題、会報委員会の活動情況、卓話の問題もご検討いただきました。真剣にクラブ奉仕についてご検討賜わり厚くお礼申し上げますと共に、3～4時間も費して一人一人のご意見を承り、ロータリー活動の前進の基礎としてすい上げてはと思うのでございます。

## 2. 職業奉仕部門

カウンセラー

パストガバナー 田中丸 善三郎

職業奉仕部門には、23クラブより52名がご出席になりました。皆様がたのテキストの第1頁に「四つのテスト」が書いてございますが、最初にリーダーの檜崎さんが立つて（言行はこれに照らしてから）が脱落していて、これはミスプリントであると言われましたが、皆様方もそのようにご理解いただきますように。そうして始めて「四つのテスト」も生きてくるのでございます。テキストでは5つの設間がなされております。第1は、貴クラブにて職業奉仕委員会としてすでに実施あるいは計画中のプログラムをご報告下さい、であり、16クラブより解答がなされておまして、特に印象深いのは、長崎クラブが実業及び専門職委員会、雇主従業員関係委員会、職業情報委員会、四つのテスト委員会と きめ細かい実施状況をご報告いただきましたことをご報告申し上げます。第2の設間は「貴クラブでは「四つのテスト」をどのようにしてクラブ会員に周知せしめ又利用されていますか」であります。佐世保西クラブでは、「四つのテスト」を会員に配布し、一般の方や従業員の見える場所に掲げる。「四つのテスト」の実行処理や事例をアンケートによつて報告させる。従業員に「四つのテスト」の意味を説明する機会をつくるなどをおやりになつてゐる。長崎クラブでは第1例会にて「四つのテスト」を斉唱している。「四つのテスト」を額入りとして全会員に配布し職場と自宅に掲載する。四つのテストに対して 会員よりの自己採点アンケートをとる。会員の職場で従業員に意義の徹底を計る とありますが、自己採点アンケートは有意義なことであつたと思います。設問3は「貴クラブ会員に職業奉仕の意義を理解させるためには、いかなる手段が有効であるとお考えですか。各クラブに具体例があればご報告下さい。」に対して、長崎北クラブでは 毎年1回位 会員が実行した職業奉仕の実例を短文に書いて提出して頂き、それを一冊の本にまとめて会員に配布すれば 各自にとっては反省の機会ともなり、また身近かな同僚の実例が 他山の石として参考になり、自らの職業奉仕に役立つのであります。

これをぜひ実行したいというご発表でございましたので、ぜひおやりな

いと激励しておきました。ご協力下さるようお願いいたします。設問4は、「雇主従業員関係に関する行事を実施されたクラブがあれば、その具体例を2, 3あげて下さい」であり、設問5は「(奉仕こそわがつとめ)」という本は お読みになつたと思いますが、その読後感を簡単に述べて下さい」というのであります。読後感として大へんむつかしいので、訳をやさしく書いていただけたらということでしたが、これに対して佐世保クラブの松尾さんが大へん適切なお話をされました。松尾さんご説明下さい。「奉仕こそわがつとめ」(八幡西クラブ)は簡単に読み易いので全会員に配布しています。Service is my business (親和銀行)は、含蓄深い中味で大へんよいと思います。

職業奉仕こそはロータリーのメインストリートであると言われております。しかしこの本通りが分からないのは、奉仕という言葉が誤解されているからであります。ロータリアンは大いに儲けなさいと説明しておきました。ハーバード・テイラーが40万ドルの負債をかゝえたアルミ会社に社長として乗りこみ、「四つのテスト」を基準にして業績をあげ、赤字を消して配当するように儲けたのであります。

### 3. 青少年奉仕部門

カウンセラー

#### 第10分区代理 本郷芳郎

本日は、皆様からのさまざまなご意見をうかがい大へん勉強いたしました。新家ガバナーが一番力を入れておられる青少年問題は、アンケートよりどこもおとらず地域のニーズに応じて努力をしておられるのを知り心強く思いました。国連は、国際児童年と決めてユニセフが、着々と事業を行つております。ロータリーも3Hなど青少年奉仕に懸命の努力をしなければならないと思います。

### 4. 新会員部門

カウンセラー

#### 第9分区代理 渡辺喜海

入会6ヶ月未満, 6ヶ月~1年未満, 1年~2年未満の3グループに分けてアンケートを出され、まとめたものが資料として出ております。この会場の2分の1から3分の2の方は新会員部門と思いますが、127名の解

答の中で、「ロータリー・クラブに入会してどう思いましたか」というアンケートに対して、よく判らない、何とも言えないという解答が 3グループ共 55~60%でかなり高率でありました。

「例会に出席して楽しかったでしょうか」という問いには、あまり楽しいとは思わないというのが 24%、1~2年未満でも18%ありました。出席励行についても100%出席に抵抗を感じずる人が40%近くあり、1~2年未満の人でも25%もあり、フォーラムでは 疑問の点が活発に議論されるかと思っておりましたが あまりご意見も出ず、はじめに山田リーダーが 出席とはどういうことか等 立派な情報提供があり 効果があつたためと思います。そのような話を聞いたので ものが言えなくなつたのだと思います。今までのパターンを変えて、はじめに新会員に話をしてもらう方が活発な意見が出たのではなかつたかという気がして、今後のあり方を考えてはどうかと感じました。

## 感想

フォーラム・リーダー 中沢忠雄

本日は先に清島パストガバナーの基調講演を拝聴し、引続き長時間にわたつて部門別のフォーラムに参加されまして皆様方にはさだめしお疲れのことと存じます。

新家ガバナーを始め、カウンセラーをお務めいただいたパストガバナー及び分区代理の皆様並びに各部門担当のリーダー、副リーダーの皆様には長時間にわたつてご指導いただき誠に有難うございました。厚くお礼申し上げます。

私は先程来新家ガバナーのお供をして各部門別フォーラムを訪問いたしましたが各部門共溢れるばかりの熱気を感じました。さだめし参加者の皆様には大きな成果を取められ、やがてロータリーの今後の発展に寄与されることと期待いたします。

ホスト・クラブを始めコホストクラブの皆さんには本日は早朝からお世話をいただきまして本当に有難うございました。おかげさまで無事終了することができました。重ねて厚くお礼申し上げます。

なお、このあと記録作成という大きな仕事が残っております。記録部会ご担当の皆様には大へんご苦勞をおかけしますが、資料を提供される方々及び記録の作成に関係ある方々には極力記録部会にご協力下さつて、1日も早く立派な記録が作成配付されますようお願い申し上げます。どうも有難うございました。

## 講評

### 第270地区ガバナー 新家忠男

ただ今のカウンセラーの非常に元気な若々しいお話で、これ以上講評を申しあげる余地はありません。1つだけ申しあげるなら、本日の第9, 10, 11分区のIGFは十二分にその目的を達して大きな成果があつたことを確信します。清島バストガバナーの基調講演をはじめとして、各分科会で立派なリーダーが熱心に指導していただきました。

本日行われた各部会は、ロータリーの奉仕活動の中で重要なものとして長い間やつて来たものばかりであります。たまたま本年から来年にかけて、RIの75周年行事という大きな問題を抱えています。各クラブにこのための委員長をつくりましたが、まだ会合をもっておりません。ガバナー月信3月号に「75周年記念事業計画と3Hプログラムに対する地区方針について」を書きましたので読んでください。

6月末の地区協議会でこの部門を1つづくり委員長に委託したいと思います。次に要点をかいつまんで述べます。

ア 来年の2月23日が、75周年の記念日にあたるので、それ以前にこの事業を完成し、絶好の広報宣伝の材料とする。

イ レヌーフ会長はRI会長としてはじめてこれ程大きな計画を具体的に示された。またこういつた大きな問題をRIの本部の理事会で決めて、全世界のクラブに仮におしつけるとしたならば、これはロータリーの精神に反する。これに対しては決して強制でなく各クラブの自主的判断に任せるとしているので問題はない。ただ多少違つたことは従来の社会奉仕はクラブや地区レベルでやつていた。これを地区の枠をこえて世界的レベルでの社会奉仕をやるのはすばらしい。

ウ 次にわれわれが来年度実行にうつす問題として

1つは、75周年の記念式典を従来になく盛大にやる。

2つは、1人15ドルの目安で寄附を集めているがこれと3Hプログラムの進め方のことで、日本の場合は保健や飢餓の追放はあまり縁がなく、3番目のHumanity人間尊重の問題に真剣にとりくむべきであると思います。またこれはあくまでもクラブレベルでやるべき問題で、今年来年に限らずつづけていかねばならないと考えます。

皆さまには長時間熱心に I G F で研讃をされ、又 ホスト、コホストクラブの皆さまには準備万端とゞこおりなく進めらほんとお世話になりました。厚くお礼を申し上げます。

クラブならびに部門別参加者数集計表

	クラブ名	クラブ奉仕	職業奉仕	青少年奉仕	新会員	部会未定	計
9 分 区	佐 世 保	3	1	3	8		15
	佐 世 保 南	9	2	1	8		20
	佐 世 保 東	4	2	4	5	2	17
	佐 世 保 西	1	1	1	4	2	9
	北 松 浦	2	2	2	4		10
	平 戸	1	1	1	3		6
	松 浦	2	1	1	2		6
	生 月	2	1	1	2		6
	小 計	24	11	14	36	4	89
10 分 区	大 村	2	1	2	6		11
	大 村 北	7	2	4	3		16
	島 原	2	2	2	5	4	15
	雲 仙	2	2	2	3		9
	諫 早 北	4	1		3		8
	諫 早	7	2	2	5		16
	小 計	24	10	12	25	4	75
11 分 区	福 江	3	4	2	5		14
	福 江 中 央	6	5	4	9		24
	長 崎 北	11	4	9	10		34
	長 崎 南	12	4	4	10	3	33
	長 崎 東	14	3	3	9	2	31
	長 崎 北 東	3	3	2	6		14
	長 崎	19	8	7	11	3	48
		小 計	68	31	31	60	8
	計	116	52	57	121	16	362